京城日報

本紙定價　壹部金五錢▲壹ヶ月金七拾五錢▲參ヶ月前金貳圓拾五錢▲六ヶ月同四圓拾錢▲壹ヶ年同八圓▲郵券代用二割增
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五拾錢（特別）▲同二號活字詰一行一圓▲同二十字詰▲同四號…
發行兼編輯人　奧田道
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

十月八日夕刊

（朝夕併せて八頁）

◇獨遂に屈服？

合同通信＝獨逸宰相は六日獨逸帝國議會に聯合國との戰爭終熄を提議せり（東京支局至急報）

◇墺講和提議

獨逸並に土耳其を經て

墺太利政府は四日獨逸並に土耳其の同意を得て瑞典政府を通じ米國大統領に對し一般的休戰並に至急講和締結希望の旨申込めり（東京支局至急報）

◇中歐諸國聯盟團體

目的は獨逸の極東々漸防壓

中部歐羅巴諸國の代表者は羅馬尼ユーゴースラブ人其他の各國人聯盟し各國の共同利益を增進する目的にて民主的歐羅巴聯盟と云ふ聯合團體を組織せり其目的は波羅的海より黑海アドリアチック海に至る歐羅巴諸國の聯合團體を指揮し獨逸の極東々漸を防壓するにあり（香港電報）

◇獨逸社會黨首領

獨逸社會黨首領シャイデマンは無任所大臣に任命せられたり（紐育電報）＝以上號外再錄

◇同盟側平和熱望

倫敦政府所著電、獨逸新內閣成立と共に伯林にては各聯邦代表者集まり御前會議行はれつゝあるものと察せらる一方維也納に於ても三日以來墺太利匈牙利の元老政黨首領等集まり居れり而して墺國よりの情報に依れば這は全く平和に關する協議にして近く中歐同盟側より具體的講和提議を爲すべしとの事なり或は既に和蘭政府を通じて講和の申込を爲せりとも傳へらる要するに獨墺兩國は勃牙利分離以來平和熱望の空氣國內に充滿し居れるが如し（東京特電）

◇全獨主義衰退乎

獨逸新宰相の任命に就き諸新聞紙にては全獨主義の大衰退と與黨なる講和構成の時期到來せるものなりと觀察し居れり又一部經濟界の人々は國內輿論を牽制する例の慣用手段に外ならずとの意見に傾き居れり（紐育電報）

◇聯合國海上損害

四十一箇月間に於ける擊沈數

聯合國の海上損害は敵國軍艦武裝商船等に由るもの又少からずと雖も潜航艇に由る損害に比すれば其割合甚だ僅少なり而も目下尙ほ戰爭繼續中に屬し正確なる損害を知るに由なく他の方法に由り知り得るものと雖も今日は是を發表すること能はず依つて大正三年八月より同六年十二月に至る四十一箇月間に於ける世界各國擊沈船舶に就き既に各種の方法に依りて發表せられたる材料に基づき戰時保險局に於て調查の結果左の如き概數を得たり（東京特電）

國名	隻數	噸數
△聯合國側		
英國	一、四六八	四、四九九、七三三
佛國	一〇九	三五一、三三六
露國	三〇	七九、八七六
白國	一三九	四〇九、八七二
伊國	一八	四三、九五九
日本	三	四六、三一五
蘭國	五	一〇、一六六
米國	一八	六三、三四九
小計	一、七八七	五、五〇一、七三七
△敵國側		
獨逸	一三三	一七三、六六六
墺國	八	一〇、九一六
土國	七	一七、五九九
小計	一四八	二〇二、一八一
△中立國側		
諾威	一〇七八	一、四七三、四六〇
瑞典	一七六	二三六、八九一
和蘭	一二七	一三九、四四一
丁抹	二二七	九四、二八三
西班牙	三九	八五、四一七
希臘	六四	一五八、五四七
小計	一、二七一	二、二一八、〇三九
其他	一四七	三六三、五六四
合計	三、三五三	七、三〇四、五三一

◇我山東守備兵撤退

日本政府は濟南府を除き山東鐵道沿線守備兵撤退を承諾せり（北京電報）

◎全露政府宣言

『ウハア』九月二十六日發電として『ゴーロス』紙に現はれたる全露假政府宣言左の如し（東京）

全露假政府は露國民衆に告ぐ

千九百十八年九月二十三日『ウハア』市に開きたる國政會議は全露國政府の名を以て左の決議を爲せり

第一　將來完備せる憲法會議の成立するに至る迄全露國の統治權を全露國假政府に委任すること

第二　全露國假政府は左の五名を以て形成すること

エヌ、デ、アフクセンチエロ。エヌ、イ、アストロフ。陸軍中將エ、ケ、バルツイリヨフ。ペ、ウエ「ウオロゴドスキー」。エヌ、ウエチアイコーウスキー

更に左の五名を以て前記諸人差支ありたる時の代表者とす

デ、ア、アブフルグーフ。ウエ、アクイノグラードフ。陸軍大將エム、ウエ、アレキセーフ。「ウエ、サボーエニコフ」。ウエ、ムゼンジーノフ

第三　全露國民の意志に依りて全露國假政府は先づ露國の統一並に獨立を復興するの業に着手すべし而して此の目的を達する爲には國民より委託せられたる權能に依りて最も堅實に且斷乎として左の諸事の遂行に努力すべし

（一）過激派の政權を撲滅する事、（二）法律の勵行安寧秩序の恢復國民自由の尊重（三）ブレストリトウスク講和條約及び露國又は其一部が獨墺と締結したる條約の國際的意味を有するもの一切を破棄すること及び聯合國と同一の步調を採りて權利と正義を基礎とする永遠の平和を建立することに努力すること（四）祖國の復興を大成し大權を正義的に解決するに必要なる兵力を組織すること（五）聯邦組織に依る國體の決定は憲法會議の議決に依るものとして政府は地形民族關係並に各地の經濟上等に基づき各地に能ふ限り廣汎なる自治權を能ふること（六）各市及び各地方は自治權を復興すること並に安寧秩序を恢復すること（七）戰爭に關する國家の窮乏を救はんが爲め殖產工業を助長すること之が爲め露國並に外國の資本を吸收することに努むると共に諸種の不生產業を削減すること（八）土地分配の大綱は他日憲法會議に依ることとし政府は能ふ限り土地を實際使用する者の手に置く事を方針とする事（九）經濟の原則に鑑み又實際の情況を考へ物資の調節に努むべき事（十）勞働に關する諸種の規定を研究し勞働者の利權並に安全を計畫する事

民意に依りて擁立せられたる全露國假政府は其行爲に關しては憲法會議に對して責任を有するものあり政府は國家の復興民衆の安寧幸福を念として行動すべし國民は此意を解して能く之を助成すべし

アフクセンキエフ。バルツイリヨフ。サボージニコフ。ゼンジーノフ（連署）

◎定例長官會議

八日午前十時より總督府第一會議室に於いて定例長官會議を開き總督、政務總監、各部局長官及び所

◇內田外相親任祝賀會舉行

熊本縣出身の清浦奎吾子を始め知名の士四十餘名發起となり來る十一日午後一時より築地精養軒に於て今回同縣出身內田康哉子外務大臣親任祝賀會を擧行する由なるが當日迄には菊池陸軍中將及び柴藤生絲檢查所長も歐米視察より歸京の筈なるに就き右兩氏の歡迎會をも兼ね行はるべし（東京特電）

◇駐土米國公使

北京駐箚米國公使ラインシュ氏は八日朝入港の關釜聯絡船高麗丸にて釜山に上陸午前十時三十分釜山驛發汽車にて北行せり（釜山特電）

◎正米取引市場

賣手には何等制限なし

京城の正米取引は從來東大門市場又は其他の米商人間に任意に行はれ正米相場として公定せるものなく一般の不便甚だしかりしが既記の如く京城精米業者及び穀物商人より成る穀物商組合は豫て正米取引方法の改善に志し本市場設立の出願中なりしが先般其筋の許可を得て既に客月十四日より其の

▲取引を開始　し居れり該市場は之を京城正米取引市場と稱するも取引物は單に米のみに限らず麥、大豆其他の雜穀の現物を取引するものにして尙ほ骨粉等の肥料も取引し居れり而して開市後日尙淺く一日五六百石內外の取引に過ぎずと雖も其組織設備の完成し其效用の認めらるゝに從ひ隆盛に赴くべきは疑ひなかるべく本市場の取引は買方は組合員に限られ賣手には何等の制限なく組合所屬の仲立人（現在二十二名）の手によりて行はれつゝあり之に依り食物需給の調節せられ特に賣手の受くる利益は尠からざるべし

▲現在石建は　一石に就き買手三錢賣手二錢、斤建は百斤に付買手一錢五厘、賣手一錢、俵建は一俵に付買手一錢、賣手五錢の手數料を本市場に支拂ふを要し仲立人は右手數料の中より石建一石に付三錢五厘、斤建百斤に付一錢五厘俵建一俵に付一錢の口錢を受け居れりと

◎黑鉛界悲境救濟

東拓並に殖銀の當局に望む

米國の黑鉛並に黑鉛を原料とする坩堝の輸入禁止斷行が朝鮮及び內地に於ける黑鉛

◆生產超過　を來しその市價を暴落せしめし事は屢報の如し殊に黑鉛業の中心地たる平壤新安州、宣川方面の打擊は甚大なるが右に付き有力黑鉛業者の間には相當救濟策として東拓若くは殖產銀行に援助を求めんとするの計畫あり該黑鉛業者中の有力なる新安州龜井武二郞氏等入京中なるが龜井氏は曰く朝鮮の鱗狀黑鉛が昨年に於て生產五千噸を超え數百萬圓の巨額を致したるは內地製鋼界に於ける黑鉛需要の增進も一原因なれど主要の理由は米國輸出の旺盛にあり

◆米國輸出　の旺盛は印度產黑鉛の輸出禁止に坐せりと稱するも誤りなし然るに米國は昨秋來黑鉛及び坩堝の輸入制限を實行する事となり本年に入つては徐々其手を强め殆ど禁輸の狀態にありし米國輸出の旺盛によつて勃興せし西鮮方面の黑鉛業が米國の禁輸によつて大打擊を蒙りたるは當然の事なり併し乍ら米國の禁輸なるものは永續すとは思はれず何れの日にその解禁を見るやは知るべからざるなり殊に最近西鮮方面に於ける黑鉛は精錬の進步に伴ひ

◆優良品を　出し得る事となりしに付米國の輸入禁止解除後は印度產黑鉛輸出の途拓かるゝと共に十分對米輸出の見込立つに至るべし然るに今日の如く黑鉛の市價暴落しては予等一二者の如く幸ひに既約品を有する者はその經營必ずしも困難ならざれど然らざる多數の黑鉛採掘者は市價暴落然も買手なきに反し生產費の增嵩を來せる市價にて販賣せんとするもしつゝあるに付此儘に推移せんか西鮮の斯界にとり悲しむべき事態に立到り萬一米國にて解禁し輸出可能となる時期に遭へるも命脈[illegible]わし

◎軍司令官出張

朝鮮軍司令官宇都宮太郞中將は水原地方に於ける地理研究のため山本高級參謀並古城副官を隨へ八日午前十時出發せるが九日午前歸任すべし

□金剛山長安寺より

大町桂月

金剛山に入り先づ長安寺ホテルに陣取申候

一萬二千峯骨立。寺樓百八鐘房間。寄言天下風騷士。不見金剛勿說山。

入山第一百塔洞の奇を探り申候黃泉溪の奧に有之高さ數十丈の自然の塔いくつとなく立ち居りて天下の奇觀に候且つ靈境に候神仙の地に候惜むらくは人跡に到ること幾んど之なく內地人も洋人も誰れも往きしものなし憲兵二人ホテルのボーイ四人鄕導の人一人都合七人小生を案內致候何れも皆始めてに候今や金剛全山紅葉の眞最中に候草々

◎高等官異動

七日附左の通更任の辭令ありたり

總督府京畿道第二部長　今村武志

任總督府事務官（四等）

總督府度支部專賣課長　平井三男

任總督府仁川稅關長（五等）

臨時土地調查局事務官總督府事務官　大庭米三郞

任總督府道事務官（六等）

總督府道事務官　富永文一

任總督府事務官（七等）

總督府屬　國分小平

陞敍高等官三等

文官分限令第一項第四號に依り休職を命ず

總督府內務部第一課長　時永浦三

任總督府事務官兼總督府參事官（五等）

總督府秘書官兼事務官　遠藤柳作

免兼官任總督府參事官（五等）

右の內今村氏は度支部專賣課長を命ぜらるべく京畿道第二部長の後任は大庭氏、富永氏は第二課勤務となるべし

◎利得稅總額

前寺內內閣は戰時利得稅より生ずる收入は誠稅決案を議會に提出し

◎今村財務官東上

入京中なりし哈爾賓駐在財務官今村次吉氏は八日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上したり

◎殖銀課長決定期

殖產銀行の職制は十月一日附にて既報の如く七日總督府より認可されしが新職制による各課長以下の配置は八九日中重役會議を開會の上決定し多分九日頃發表すべきが秘書課長には前鮮銀營業課員鈴木忠之丞氏就任する事に內定し居れり

◎久保醫學博士

九州醫科大學教授久保醫學博士は七日午後六時五十分南大門驛發列車にて

◎露國へ軍靴供給

朝鮮皮革會社より社員特派

露國の帝政時代永登浦の朝鮮皮革會社は駐日露國大使館の手を經て露國の軍靴並に彈藥盒の註文多數を引受けその供給をなしたるが昨年三月

▲露國大革命　と政體の變革は註文引受け品殘部の引渡しに故障を來さしめ同會社にては今日まで軍靴約三萬五六千足、彈藥盒約八千の手持を續くるの止むなきに至り居れり、その間東淸鐵道廳より右軍靴の買收方に附き交涉ありし由なるも協調成立せざりしが最近に至り聯合軍の援助を受け西伯利に於て過激派並に獨墺俘虜軍と戰ひつゝあるチエックスラバック軍カルムイコフ軍並にセミヨノフ軍より右軍靴購入に付會社は交涉を受けたるより近く社員小笠原氏をハルビン

▲浦鹽方面に　特派し相當の交涉をなさしむべしと尙ほ聞く所によれば前記三軍ともに軍裝十分ならず殊に向寒の折柄軍靴の準備は極めて必要なるを以て取急ぎその受け渡しを希望し居る模樣なれど會社としては代金決濟上十分の注意を拂ふの必要あり何れ小笠原氏の北行のみにては最後の手打ちには至らざるべく詰局は東京露國大使館の斡旋と盡力に待つ事とならんと

◎嘉納氏元山行

入京中なりし嘉納講道館長は八日午前七時十分發列車にて元山に出發せり

◎東畜の本社

十日午後一時創立總會を東拓樓上に開くべき東洋畜產興業會社の本社は南大門通舊高田商會跡を以て充つる事となりたりと

◎東拓慶共出品

東洋拓殖會社京城支店よりは大邱の慶北共進會に對し同社事業の一部を摘出せる大額を出品すべく本社の石田富造氏擔當中なり

人事消息

◎堤司事東上　朝鮮銀行の浦鹽出張員堤謙三氏は六日入京七日本店にて諸種の事務打合せをなし七日朝今村財務官と同行東上せり

◎殖銀職制中追加　七日夕刊殖產銀行職制中商業金融部の項に經理課を脫したれば追加す

◎殖銀重役寓居　殖產銀行頭取三島太郞氏は以前の鮮銀理事社宅を動かず又有賀理事は南米倉町二〇に中村理事は旭町一丁目三十六（前高瀨理事宅）に櫻井理事は南山町二丁目四十九（前きくや）に林理事は崇仁洞八一に何れも寓居せり

◎福岡縣學事視察團　福岡縣學事視察團一行卅五名は十一日午後七時二十五分平壤より入京十二、十三兩日滯京市內各學校其他を視察十四日午後仁同日夜行列車にて釜山に向ひ出發の筈なるが在京福岡縣人有志は十一日一行を京城ホテルに招待歡迎會を催す計畫なりと

▲尾崎政義氏（代議士）八日朝高麗丸にて上陸北行

▲上田隆心師（高野山佛教中學校教諭）生徒二十五名引率八日朝釜山に上陸し高野山釜山別院に入れり

▲濱內式惠師（大谷派本願寺朝鮮布教監督）九日午前出發京釜沿線の同派布教所の教勢視察の途に上り十六日午後歸京の由

▲岩井長三郞氏（總督府營繕課技師）七日附金川郡へ出張を命ぜらる

▲鈴木板德氏（同上）同日附平壤へ出張を命ぜらる

▲永田秀一氏（東京高師教授）八日朝入京

▲木田存氏（外國語學校教授）同上

▲荻田總務局長　荻田總務局長は豫定の如く八日夜南大門驛發北行列車にて出發せり

茶話酒後

◆獨墺遂に屈す。吾人は勃牙利の休戰提議と共に、事の茲に窮らんことを、連日記述せり。而して事の茲に窮る、蓋し當然來るべき、自然の勢ひ也。

◆勃牙利の休戰提議は、單獨講和と評せんよりも、寧ろ無條件降伏なりと見るを是とす。即ち勃國は軍隊、軍需品、道路、河川及び船艦を聯合軍に引渡したり。茲に於て獨逸の東方動脈は切斷され、遂に如何ともするを得ざる也。

◆獨逸は何故に、勃牙利の脫退を防止し能はざりしか。何故に今日あるの、先見の明なかりしか。吾人此間疑ひを挾むものあるも、而も翻つて考察せば、獨逸は寧ろ遂に之を防止する不能なりしなるべし。即ち勃國首相マリノフは、今秋講和締結の目的を以て、就任したる者也。而して事實に、軍人及び文官より、一致の贊助を受け居たる者也。斯て彼は、其機を窺ひつゝありし者也。機を得て勃國の國論を敢行せし者なれば也。要するに獨逸は、勃牙利の無援孤立に陷るも、遂に之を救出するの餘裕を有せざりしが爲也。

◆中歐同盟側の局面、將に急轉直下せんとするも、獨逸は尙ほ未だ一流の奸策を弄して、獨墺國民を欺けり。即ち墺匈國軍隊は續々ソフィアに到着せり、ザヴオフ將軍は新に勃國軍總司令官に任ぜられたり、勃國王は飽く迄中歐同盟に忠實也、勃國內閣は顚覆して、前內閣文相ペチエフ新に內閣組織に當るべし等、獨逸側に取りて頗る好都合のみを發表せり。而して此の發表が、例の虛報製造所の僞造なる事は、國民も左程に氣付かざりしが。本月一日勃國政府より、休戰條約成立の公報發表せらるゝや、獨墺國民は俄に靑天霹靂の感に打たれたり。

◆平和の叫びは各所に喚發し、獨帝父『祖國防護の旗の周圍に集まれ』と絕望の叫びを放てり『獨逸の軍事的政策は失敗に歸せり』てふ輿論は全國內に沸騰せり。斯くて中歐同盟は破れ、各國各方に於て、茲に講和の提議となりて、其の醜態を現出せり。

◆中歐同盟諸國の休戰講和提議は、急事實として現はれんも、之に對する聯合國の回答如何。舞臺は劍戟の世界より、外交の世界に轉ぜられり。

觀愛國婦人會諸淑女送北征將士有感　服部江楠

大笑出門何慨慷。秋風畫角壯人腸。猗歟巾幗掃胭粉。赴戰纖纖揮劍槍。愛國精神眞激烈。吞胡意氣太軒昂。珠喉高齊低唱。遙送驍輪向朔疆。

國師曰、氣魄雄偉、不陷纖巧。不紛華縟、使讀者振起。

祝大隈翁入閣　烏兎

雲の上に大伊賀栗や笑みわるゝ

雪飛へこ毅然こ聳ゆ秋の富士

山を蹴る風雨もなれて秋高し　城

塗料船具油類金物
土工用器具及材料　雨覆天幕製作販賣　近江帆布會社製品　朝鮮一手特約店　同免許船燈販賣所　製作販賣所　旗印石油合資販賣所
總店　村谷本店　仁川本町一丁目　電話長五六番　振替京城五九番
支店　村谷石炭部　仁川府支那町　電話八一九　振替京城五九番
義州印刷所　平安北道義州城內　電話長二一　振替京城九八

冬帽子
東京製帽子卸專門
新形冬物全部荷揃　多少に不拘御引立の程願上候
本店　東京市日本橋區馬喰町四丁目　山脇製帽所
京城府漢江通八番地電話一二三番　近江屋　山脇帽子問屋

※開業御披露
天高肥馬の好季節各位益々御清適奉慶賀候扨て當亭儀今般御成俱樂部の玉臺を讓り受け左記にて來る十日より開業致し候に就ては何分にも急設の事故種々不完備の點も有之可申依つて試球の爲め八日九日を公供し御清遊を仰ぎ併せて御心付きの點は御遠慮なく御指導を蒙り能ふ限り完全を期し申度候間何卒萬障御操合せ御光臨の程偏に奉冀上候
京城旭町一丁目一番地（郵便ポスト前）　旭松亭　電話七六八番　戶松
舊御成俱樂部儀永らく大方の御厚情を辱ふし致候處都合に依り廢業の上玉臺及附屬品を戶松氏に讓り渡し同氏は今般旭町一丁目に於て理想的の設備を施し開業致候間何卒自分に倍し深甚なる御愛顧御引立奉願候　舊御成俱樂部　西村
追て來る十二日より三日間開業披露競技會開催致候に付御同情の上振つて御參會御願申上候

▲セメント著荷
京城古市町　苫米地商店　電話九四一、三一〇八番　振替京城五三番
(1)

△冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事と延て燃料の高價なる事だと思ひます！
△此二つのものは『ペーチカ』を設備なさるゝ事に依つて大に輕減せらるゝのであります！
△『ペーチカ』の設備が大切であります！今の內の御計畫は總押詰つてからでは間に合ひません
ペーチカ築設專門　京城府漢江通八番地　宮崎組　電話龍山五四一番　振替口座京城五四〇九番
說明書御申越有次第贈呈

新荷著

新譜兩面版は定價より三拾錢引壹枚金壹圓二十錢
京城本町一丁目廿九番地　日本蓄音器商會　電話一二八三番振替京城六八四番

職業
成功は撰擇に有他に類なき高尙な趣味に富む工業錦筆の座敷に出來る奇麗な手輕い仕事一度本業に案內書を見られよ決して一時の利欲に迷ふ勿れ本原料の供與見本四錢
代理店大募集　大阪中津町下三番　日本錦筆製造所　大阪天滿橋筋一丁　日本錦筆出張所

釜山阪神間定期船開航
釜山澤山兄弟商會所有船
快速力鐵船　山光丸（壹千壹百噸）
初航十月十日
釜山阪神間一ヶ月四往復定期運航　釜山出帆
大正七年十月五日
釜山　澤山兄弟商會　電話長七五〇番　八六一〇八番　一六番

末路に近づかんとするホーヘンツオルレン家

（向つて右）獨帝（左）皇后（下）皇太子

◎獨逸屈せるか

休戰提議の裏に潜む 恐ろしい企畫

從來見ぬ變つた戰法

何れにせよ山は見えた

獨逸新宰相マキシミリアム公が六日獨逸帝國議會に聯合國との戰爭終熄を提議せりとの報に對し某武官は語る又しても例の獨逸一流の慣用手段と見るを至當とせん、今迄數次彼の講和提議を見るに戰線退出の後に於て聯合國に向て講和を仄めかし然も更に敵は攻勢に出たり然るに今回は多少

★**其趣を異** にしたる觀あり即ち獨逸は最近退却に次ぐに退却を以てし外に對しては墺國をして聯合國及び交戰諸國に對し講和に就て商議せん事を申出でしめ內は新首相たるバーデンのマキシミリアム公は議會に於て戰爭の終熄を提議せるあり然も其裏には恐るべき最後の大決心を以てせる一大計畫の潜み居るべき事を認めずんば非ず彼は從來の決心に加ふるに更に一段の

★**大決心と** 周到なる用意とを以て豫定の退却を行ひて敵を出來得る限り手許に引き寄せ其腰の伸びたる處を見て一大攻勢に出で一叩きに叩かんとの心算なるやも知る可からず斯くの如き所謂逸を以て勞を俟つの戰法は一面自國軍隊の士氣を阻喪せしむるの虞あり今迄に於ては餘り此戰法を見ざりしが今回は如何なる決心を以てせるやは窺知し難きも向後の獨逸の行動は蓋し

★**一大見物** たるべし又彼は此講和提議を以て對內政策に利用せんとする考へもあらん獨逸軍國の爲めとは云ひ乍ら五年に亘る大戰爭に於ける負擔輕からず國民既に疲勞困憊の狀あり此國民に輕聽を與へん爲めに政府は敵國の容認せざる戰爭終熄の提議を爲し聯合側の拒絕に遭ひて事々敷く平和を欲せざる敵の

★**誹謗を鳴** らし我の更に矛を新にして戰はざるべからざるを告げ國民の奮起を促さんとするの魂膽もあるべく要するに今回の彼の手段は從來のそれに比し頗る大規模に工夫を凝らせるものと見るべし然れども各交戰國共平和の時期接近しつつあるを感知せるは爭ふ可からざるの事實なるが如し獨國の休戰は堤の一角より崩れんとするの兆にして弱き者より漸次に倒るは一葉落ちて天下の秋を知るの理に非ざるか

◎瑞典は間諜の暗鬪場

町は獨人許り

交戰外交團の暗鬪場たる瑞典駐劄公使內田定槌氏の土產話しに曰く『瑞典公使館は丁抹並に諾威を兼轄し共に敵の諜報を取るに最も便利な關係から各交戰外交團は互に腕に撚を懸けて働いて居る同地はヴェニスに似て綺麗な水の都と云て獨逸は開戰と同時に食糧輕減の意味も手傳つて夥しい老幼婦女を茲に逐つたので町の過半は殆ど彼等の專有といふ狀態で新聞なども何の檢閱も無くドシ／＼來るので茲に居ると敵味方の勝敗が確實に判然し頗る面白い、が同國民は大部分獨逸に厚意を有し敵味方の國民は殆ど睨みッくらの有樣で在る』

◎毛衣を着て穴居

西伯利出征軍の冬籠り

宛で原始時代の生活!!!

一穴に四五十人位收容が出來る

西伯利より歸れる關東兵站部長陸軍中佐橋本銈太郎氏談に曰

◇**出征** 軍隊の冬營に關しては今後遺憾なく準備を進捗さる筈なるがチタ、ボルヂャ其他各主要地には露兵の兵營到る處にあり一兵營二千名を收容するに足る煉瓦建物の完全なるあり窓硝子等破損し居れるも之を修理すれば直ちに我軍の使用に適すべく尙其他に宿舍不足の箇所には土窟を掘鑿して

◇**穴居** をなす筈なり歐洲戰線の塹壕と同樣なものを建設すべく今日に於ては戰線の塹壕も普通住居の土窟も築造に何等差異ある事なし即ち西伯利出征軍の冬季間居住すべき土窟は一穴に四五十人位居住するものにして本地より二間掘り下げ長さ五十尺幅十五尺位の穴を造り

◇**天井** は直徑五寸位の丸太を組みて二段重ねて其上に土を覆ひたるものにして一方に高さ二尺位の硝子窓を設け採光するの設備あり西伯利は五月頃迄殆んど降雨を見ざるが故に雨水に對する準備の必要なし此方法は支那の普通住宅の住居と同樣なるものにして防寒の住居として最も便利なるが室內には藁を敷き其上に毛布を覆ひ夜はランプを用ひ

◇**暖爐** 設備をも完備の筈なるを以て室內は極めて住居ふにも快きものなり出征軍の住居は前述の如く露兵營及び土窟を利用し被服は毛革のもの各人十種類ありて全部之れを着用する時は九貫餘の重量あり凡て羊又は兎の毛を附けたるものにして一名分百五十圓を要せり又

◇**騎兵** は普通の靴の上更に內部に毛革の付ける靴を履き即ち二重靴を用ひ步兵は內毛革の靴一足を用ゆ斯くて食料も保溫的のものを取非戶掘機械も送附して目下開鑿中なり

文展出品

昨年に比べて 三四百點激減

◎物價や運賃の騰貴が影響した

今秋の文展出品は既報の通り五日を以て締切つたが日本畫千九百十一點洋畫千百點彫刻百七十五點中主なる作品を擧げると

▽**日本畫** △山內多門『雨三題』△小山榮達『武勇』△尾竹國觀『礎』△飛田周山『コンロンの仙窟』△永田錦心『雁風呂』△平田松堂『秋草三題』△山田敬中『微一題』△川崎小虎『祈願』△石井天風『王者の瑞』△磯田長秋『大茶の會』△西村青邨『玄宗』△島崎柳塢『釋宗演の像』『百花園』△尾竹坡『儺雷神』△栗原玉葉『春雨秋雨』『淺妻船』△歌川若菜『耕ひ』△結城素明『夏日三題』△平福百穗『牛』△鏑木清方『試さるる日』又京都方として△川村曼舟『古都の春』△橋本關雪『木蘭女史』△庄田鶴『友荒模樣』△松村梅叟『棄む』『嗄かさ』△竹內栖鳳『山水』△菊地契月『白川の女』△木島櫻谷『題不明』△川北霞峰『風景三題』△都路華香『凪』△西山翠嶂『黄梅』△上村松園『牛飼』

▽**西洋畫** △石橋和訓『松方侯の肖像』『某氏の家族』△片多德郎『郊外の秋』『花下竹人』△安田稔『肖像』『黑百合』△田邊至『七面鳥を飼ふ人』『ギター』△小林萬吾『猿を嫉ける女』△上野山清貢『赤牛のある風景』△井上よし子『朝の睡蓮』『靜物』△有島さとみ『畫室にて』『二人の女』△龜高ふみ子『ダニエルの話』△五味清吉『アルハ』△白瀧幾之助『某氏の像』『御花畑』△保田龍門『子と父』△武內鶴之助『高原の入日』△辻永『山上の朝』△春秋一對『北蓮藏』『歸路』

▽**彫刻** △池田勇八『籠育ち』『微風』△堀進二『支柱』『老人』△石川確治『春の夜の夢』『教化』△和田垣良雄『快男子』『老人肖像』△小笠原長幹『姬百合』△北村正信『光』

等である本年は昨年の日本畫二千二百七十點、洋畫千四百八點、彫刻二百十四點（尤も審查員の出品も含む）に比べると約三四百點の激減である、此原因は原料の騰貴其他種々あらうが第一は關西地方の出品が約三百點減じた事で運賃の高くなつた爲に見合せた向が頗る多いからだと云ふ（東京）

◆**新警視總監曰く**

◇閣下は止めて欲しい 岡警視總監が方々から閣下／＼と呼ばれるので、嬉しいやら、固くなるやら、聊か恐縮の形◆『內閣も政黨主義だから、私も怎うか閣下を止めて、岡さんと云つて下さい、兎角平民主義でないと徹底し難い、肩が擬ります からなあ』で一寸受けさせる

▼**今年の呼物** ‖百穗清方二氏の作品‖

昨秋日本畫推薦の一、二席を占めた平福百穗氏の出品『牛』は眞金六曲一双で半双には斑の牛、半双には二匹の仔牛、鏑木清方氏の『ためさるる日』は踏繪の遊女で六尺に四尺五寸の竪幅、兩方とも昨年に優る傑作で今年も此兩作品が呼ものにならうとの評判である

◎引つこ拔いた草の根に金塊

西伯利は黃金の國

外國に採掘を許すと風說

『西伯利政府では歲入增加の一方法として西伯利全土の鑛山採掘權を一般外國人に附與し總採取額の百分三を政府に納付せしむる方針だ』と云ふ風說があるので浦鹽通の汽船で往復する貴白人の間には既に

◬**百萬長者に** 成り濟ました樣な鼻息の荒い話が彈んで居るオコック海ボートアヤン附近の金鑛では露國人ヴォゲルマンと云ふが過去二箇月間に廿萬金を採掘したが其鑛脈は地下四呎と云ふの草の根を引き拔いた許りで大小の金塊が海草の形で續々見るると云ふお伽噺的の事實も傳へられニコライウスク附近の金鑛では夏期七箇月間支那人及び朝鮮人一千人を使役し總額

◬**五十四萬圓** の金を採掘したと云ふが是は稍や誇張らしい兎に角アラスカの開發もトランスヴァールの開拓も第一着手は金鑛の發掘から始まつたのだから西伯利でも愈々鑛山採掘を開放したなら其開發は驚くべき勢ひを示すに至るだらうと

◎貨物車脫線

二名重傷す

京都龜岡間の嵐峽にて六日午前二時廿分貨物列車脫線粉碎し火夫一名車掌一名重傷を負ひたり（京都電報）

◎泡沫會社で詐欺を働く

通度寺僧侶から數百圓

岡山縣淺口郡鴨方村大字鴨方生れ當時釜山佐川洞に寄住せる仁科悅二（四三）は全北道高敞郡高敞里吳準鐸（三五）外二名と共謀し本年三月廿五日頃悅二宅にて相談し米穀定期取引仲買業を開店せんとし資本金三萬圓の資金に窮し一萬圓は悅二外二名にて出資負擔し他の二萬圓を一般より募集せんと企て

◬**共醒世界社** といふコケ嚇しの名を付けて一口四十圓として勸業債券十圓額面四枚を以て出資せしむる方法を取り債券を所持せざるものは現金を提供せしめて同社にて便宜購入し營業を開始し年五割の純益を得且つ每年一回八千圓割附勸業債券を附すなど巧に他の射倖心に投ずるやうな印刷物を配布し

◬**募集に著手** し前記吳準鐸を運動員とし先（六月二三日頃慶南道通度寺住持金九河氏他同寺僧侶七名に會社の組織を說明し端手に粟の如き有利な事業なりと言葉巧に世情に疎き僧侶を欺き債券合計二十五枚現金百八十餘圓合計金額數百圓を詐欺したる事發覺し釜山地方法院豫審に附せられしが七日有罪と決定同法院公判に附せられたり（釜山）

◎**十日會家族大會** 龍山に於る智識階級を以つて組織せる十日會は每年四回づゝの會合をなし親しく意志の疏通をはかりつゝあるが來る十日午後七時より龍山龍光館に於て家族大會を開催し本社龍山探光氏の家庭講話を聞く由なるが倚この外餘興もある筈

◇嫉妬から=起る殺傷

……強烈で本能的な感情 發作後には快感を覺える

凡ゆる殺傷の中には嫉妬が原因になるものが最も多い嫉妬から殺傷の起る經過を考へて見ると、元來嫉妬と云ふ感情は強く且つ本能的なもので、何處までも他の感情や

▽**理性を超** ゑて旺盛に人の心を支配する感情であつて、思慮ある人も、嫉妬の爲めには意想外の行動をすることがある、これが未だ單なる嫉妬感情丈けの發露ならば好いが、更に加ふるに相手に對する憎惡怨恨の情を以てすると、更にこれが強度の燃燒を起した結果は自己の名譽や生命の保存慾すら沒却して了ふやうになる、即ち自己意識がその刹那に消えて了ふのである、これを醫學者は

▽**暴動發作** と呼んで居るが、さてこの發作後には一種の快感が生ずるらしく、收監して間もない犯人にその狀態が目擊される或る犯人は

▽**自殺を企** てた後何かの未だ仕殘した事があるやうな氣がして逍出したと告白した、斯の種の犯人は多くは因循姑息な性情のものに多く、天質快活な人には少いやうである、その素質によつて現れ方が違ひ發作の盛んな時の狀態は、精神病者と同じやうな幻覺を伴なふもので收監後にでもこの幻覺は續いて居り又相手に對する

▽**妄想的の** 曲解が伴なふやうになり、一度他と姦通した女に對してはその後誰とでも姦通してゐると曲解する事等があるそれと同時に、一度姿を消してる自己保存慾が頭を擡て來るこの證據は、犯人は遂行後自分も自殺しやうとするが、大概は自殺しないで、方々を徘徊しつゝ、遁走するのが常である（某醫官談）

◎廉くて暖い 牛毛織

永登浦皮革會社で 幾らでも出來る 織つても／＼足らぬ

▽**牛の毛** から洋服地が製織ると云ふ事は正に世界的の發明と稱してよい、日本には毛織物の原料たる羊毛が少いので鐵や棉など同樣何とか自給の途を開かねばならぬ——と云ふ事は朝野有識者の聲であり、農商務省の臨時調査局などで頻りに色々の調査や研究が進められてゐる——しかしその毛織物の原料として從來最上等視せられた牛毛から相當な

▽**洋服地** が朝鮮で出來るやうになつた、その發明は此春も報じたやうに中央試驗所で成功したのだ、その牛毛織の製織は本年の三月卅一日永登浦の朝鮮皮革會社で總督府の許可を受けて之を初めたのである、爾來漸次工夫を凝らして品質も段々好いものが出來るやうになり、既に製織した高麗毛織——牛毛織の事——は約七千ヤールに達し滿鐵京城管理局や

▽**總督府** の傭人や電車の車掌運轉手用の服として合計五千七百ヤールを納入し漸次各方面の註文を受けてゐる、右に就て七日永登浦の皮革會社に賀田社長を訪へば社長は七百人からの職工を使ひ一日一千餘足の靴と多數の鞄や背嚢や支那向きの製革を造る廣い皮革工場を約一時間、隅から隅に引廻して熱心に製革順序の化學作用を順序より說明し、臭い匂ひやグル／＼廻つてゐるベルトの危險や、轟々たる機械の音に弱つた

▽**記者に** 語る『つまり高麗牛毛織は本社製革事業の副產物ですよ』と云ひ／＼『此の牛毛はコレまで日本ウールの會社に供給してゐましたがウール會社ではフェルトやスリッパ又は下等な毛布にしてゐました、然し何とかして今少し高等な毛織物は出來ぬものかとは國產獎勵の趣旨より吾々の年來の考へでした、しかし牛毛を毛織にするには第一に牛毛を皮から放す時用ゐてゐる石灰分を洗ひ落とさねばならぬ、この

▽**洗滌は** 淸水で而して流水であらつて特殊の手がゐる、その條件に本社は十分副ひ得たと云ふのは漢江の流れがすぐ工場の側にあり器具も有つてゐるからである、此點に於て容易に他の模倣を許さないのです、その牛毛の洗滌には數年の苦心で成功する事となつたが製織は援助を中央試驗所にお願ひした試驗所の研究の結果今日に至つて漸く

▽**成功し** 本社でお許しを受けて織り出す事にしたのです』と賀田社長は記者を高麗毛織の工場に案內した、工場は會社の構內の隅百七十坪ばかり洗滌した粗牛毛の乾燥、紡絲紡績の準備、それから製織物の染色仕上と云ふ順序で出來上るのだが職工は現に數十人の鮮女がブー／＼と手で廻して牛毛を紡いでゐる、製織は十餘臺の機械でガタ／＼織つてゐる百人ばかり、目下の設備で年額

▽**五萬碼** の生產力は內輪にあり、販路さへ儘ならば二十萬ヤールだけの原料はあるし、製織設備もすぐ出來るとの事である、又此の牛毛の高麗毛織は黑ヘル織、霜降織、茶褐織等であつて特色は何しろ強くて暖かい事、安値なる事にある、一ヤール小倉服より十錢高普通服地の半分以下の一圓二十五錢乃至三十錢で洋服表地一着分

▽**七八圓** で上る、背廣、オーバー、インバネスなどに適するやうだ『中流以下の需要品だから安くて強いのが特色です、今年毛を交へたのをも研究してゐますし段々外觀もよくなります』と賀田さんは語つてゐた

元祖 寄鍋 一日園 南山町二丁目 其他鍋物開始 電一四九番

大掃除 ‖九日‖

施行區域左の如し

長谷川町、北米倉町、太平通二丁目、太平町一丁目、武橋町貞洞、黃金町一丁目の一部

◎**飛降りて負傷** 京城府古市町西尾榮（三七）は七日午後八時古市町電車停留場附近に於て進行中の電車より飛降り後頭部に打撲傷を負ひ原醫師の治療を受けたり

◎**豺豚を攫ふ** 京畿道高陽郡碧蹄面仙遊里附近にては客月下旬より豺出沒し同二十八日より卅日迄に養豚四頭を淺はれたりと

◎**專修學校運動會** 京城專修學校にては來る十三日午前九時より獎忠壇に於て運動會を開催する由

◎連絡船上旅客 七日

天氣 晴

仁川 明米

演藝案內

壽座 本町三丁目 電話五七八番

當る十月九日より住吉一行 △日本一節劇元祖浪花政吉一行 △前狂言 三日月次郎吉『義士劇南部坂雪の別れ』 △切狂言 小市源一（鶴太郎）[illegible]

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館

當る十月四日より特別大興行 ユニバーサル會社特約 人情劇 故鄕の母 [illegible]

大活劇 啞娘 全八卷 [illegible]

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

當る十月七日八日二日間 浪界新進之泰斗 京山愛虎大一行 東京名士出演 山村連手師 淨瑠璃 筑前琵琶 △浪花節 △ヴァイオリン △尺八 △琴 △喜劇其ノ他種々

第三灰色の幽靈 全廿二卷の內 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三

當る十月四日より秋季特別大興行 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 滑稽デブ君の僥倖 絶海奇談『孤島の花』 [illegible]

黃金館 電話（晝間）二二六六（夜間）二六二七

新派悲劇 金色夜叉 疑問の死 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番

京阪落語手大一座 △落語 △落語 △手踊 △浪花節 △音曲 [illegible]

寫眞 京日寫眞製版部

撮者は かぜの神である 年中人間の油斷を覘ふてゐる、而も今は撮者の最も得意の時候だからドシ／＼肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦めてやる、其中酷く侮る奴は容赦なく殺して了ふ然し ハカリ印のヘブリン丸は撮者唯一の強敵である、撮者が如何に暴力を振ふても忽ち擊退されて了ふ。實にハカリ印のヘブリン丸には流石の撮者も兜を脫がざるを得ないのである

ハカリ印 本舖 大阪 參天堂藥房 合資會社 定價 家庭用 十錢以上 五十錢 壹圓

本場精品 宇治茶直接販賣

爽茶の好時季 御銘茶定價表 ○玉露類 ○煎茶類 ○折物製 製造本店 山城宇治 營業所 京都 製茶問屋 井上六平

釜山著名商店案內

月刊 清酒・罐詰 電話三五九番

釜山 東 あづまや商店 糖粉・官煙 振替京城三九番

雜貨問屋 [illegible]

內外雜貨卸問屋 長岡商店 釜山辨天町

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店

酒精 壜詰入 燒酎 西貢米 碎米 大豆 砂糖 麥粉 雜貨 食料品 釜山埋立新町 福榮商會

スマート [illegible]

[illegible]井上惣藏、木下ひさ[illegible]安田みさ、田中[illegible]大賀[illegible]

[illegible]る子、川田久萬吉、田宮勘次郎、楢居辰[illegible]地、伊藤又二郎、中西卯之助、大崎はまよ、服部才助、田上武之介、高橋政四郎、藤田はま、德田米吉、南政吉、林釜三郎、

小田太[illegible]玉喜吉、井上秀一[illegible]錠、岡本しやう、熊谷とき、村上すい[illegible]久藤吉、永淵虎藏、清水佐太郎、加藤淵太郎、横橋守雄、御木從三郎、伊東俊吉、小川可松、楠崎一良、吉安到、新谷勘藏

[illegible]ふみ、同たみ、同菊男、同芳男[illegible]山政雄[illegible]勝定七、中山丁、同せい、根正才、安部綱、長尾たつゑ、同あき子、佐倉かく、同倡

天氣豫報 時晴曇

[illegible]

仁川米豆取引 八日の十一月限

[illegible]折柄大阪[illegible]移りに漸々崩れて五十三錢と瓦落し六十二錢と引返し結局六十錢と打止めたり 後場中限一節二十七圓五十錢四十錢七十錢六十二錢三錢二錢四錢三[illegible]

◎哈爾賓にては西洋紙の饑饉

◆輸入杜絶と在品逆輸◆

歐洲戰亂勃發以來哈爾賓の洋紙は依然に日本より輸入の需給しつゝあつた爲め昨年ザラ紙最高價の時代にも一部殘りの印刷紙を使用して新聞を出した程それ程窮狀に陷つた事はあつたが其後何分緩和され相場引戾されたり爲め南滿奉天等より供給を續けつゝありしが紙價は本年夏期より再び昂騰し且つ益需用の增加の形勢あり需用を充たす能はざるに至り遂に北送中絶し却つて哈爾賓在庫紙の逆輸送をなすの奇現象を見るに至り不足なる哈爾賓の紙類の如き殊に甚だしく露支新聞社は皆其紙の供給に非常なる苦心を感じつゝありと(奉天)

◎松花江の貿易

◆一年間出入の船舶數◆

黑龍江松花江の航江權は近頃世人注視の的となつて居るが今年は航路の最も旺盛であるべき夏季中殆ど同沿岸の秩序紊亂の爲中絶の已むなきに至り甚だ航江船數の減少を見た次第であるが例年は實に莫大の數である昨大正六年夏季に於ける松花江沿岸支那税關の調査に依れば左の如き輸入船を見其積荷及び卸荷噸數は略左表の如し

(一)露國汽船到着數三百七十五隻其噸數十三萬六千八百八拾二噸(二)支那汽船到着數百八隻其噸數一萬七千九百八十九噸(三)支那帆船到着數八千五百六十隻其噸數十八萬八千五百六十噸(一)露國汽船三百八十三隻其噸數十四萬二百九十四噸(二)支那汽船百十七隻其噸數一萬八百六十三噸

之を合計すれば左の如くである到着汽帆船合計九千四百十一隻其噸數三十三萬三百二十一噸出港したものが汽帆船共八千七百五十二隻其積荷噸數が三十二萬四千二百八十二噸であるこれを大正五年に比すれば約一割の增加であると云ふ殊に本年は大々的增加を見るべき筈であつたが中途斷絶の結果大減少を見る事は免かれぬ

支那税關の調査

であるから全く正確なものであると云ふ事は出來ないが同航江船の一般運送能力と沿岸に於ける貿易既數を略窺知する事は出來る次第である更に交通の安全と沿岸の秩序が整頓されたならば同航路に依る貿易は急激なる進展を見る事は明瞭である目下日本側調査進捗しつゝあれば近き將來に於て正確なる統計を知る事が出來よう(奉天)

◎石炭は安心

◆今年中値上せざる◆

滿鐵側の意嚮

最近朝鮮及び滿洲各地の工業著しく發達し石炭の需要は異常の增加を示せると共に內地及び南洋各地の石炭需用額又甚だしく增加し滿洲炭は其の注文に應じ得ざる盛況を告ぐるに至れるを以て勢ひ滿洲及び朝鮮地質炭の價格引上を見るに至るべく或方面にては著しき値上げを見るに至るべしと爲し內々憂慮し居る向きも少からざる模樣なるが滿鐵の方針としては今年中は地質炭の値上げを行はざるべく若し値上げの止むを得ざるに至るとするも一般採暖用炭の需用期を經過したる明年春頃に於て或は値上げを行ふと共に從來社員に配付したる特別扱も多分廢止さるべしと(大連)

◎馬の皮と銀

◆支那商側に乘ぜらる◆

銀高に依り一時中絶の有様なりし奉天馬皮は銀相場漸落と共に夥々手出し出來る事となり既に支那商人側は相當活氣付き哈爾賓方面に向つて買付けに出掛けるもの等あり且又大阪相場は依然として五圓八十錢乃至六圓廿錢位を往來しつゝありと云へば邦商と雖も支那銀の相場安きに確定せば直ちに手出しする事を得べく目下只管銀相場の動靜に大なる注意を拂ひつゝあり奉天に於ける馬皮の蒐出は其數莫大なるを以て一旦內地相場と出會へば貿易業者中には同品に手を染むる者少からず忽ち競爭的態度に出づる事あり之れ邦商の缺點にして支那側に乘ぜらるゝ者多ければ相互大いに注意を要すべき次第なりと某同業者は語れり(奉天)

◎棧房業勃興

◆滿洲に於て日支人の◆

四平街が蒙古內部との交通開け其策源地として認められて以來各種の事業商業が相踵いで勃興するは四平街の爲め喜ばしき事なるが近來有力なる棧房業として開かれたるもの東省實業公司の實業棧は上村鶴雲氏を支配人として本月一日より又支那人間には公主嶺慶源達の財東が銀十萬元を投じて同生和と稱する棧房を開き豆油製造をも兼業する由にて齋思中氏支配人たり又通順厚にて資金四萬元を以て開棧せる等日支人が相當の資金を投じて起業し以て四平街を策源地として大いに蒙古方面を開發せんとする策の樹立せらるるは喜ばしき事なり(四平街)

◎北滿と麥粉

◆益々強氣配となる◆

南滿に於ける麥粉の市況は過般來鈴木商店の手を經て內地期限物塡補の目的を以て多數內地に輸出され一方上海粉等も滿洲輸入捗々しからざるより漸次相場も昂騰し奉天目下の成行き紅南印袋四圓六十錢藍細四圓五十錢黃龍四圓廿五錢を唱へ之を前月中の相場に比すれば何れも五十錢位宛の騰貴と云ふべし然るに我軍の出動と共に北滿の秩序整頓され一時不通の域にありしチタ、ブラゴエ方面の輸送も幾分復舊され久しく哈爾賓に堆積されたる麥粉は全部同方面に吸集されたるのみならず反つて南滿麥粉を哈市に向けても相當引合ふ如き相場に立至りたれば邦人北送を企つるものさへあるに至れり今日の所北滿麥粉需用は無限の形勢なるを以て暫く強氣配を繼續さるべし

◎石碑嶺の採炭

日露戰爭後ポーツマス條約に依り露國より其權利を承繼したる長春東方石碑嶺陶家子の兩炭坑は其後久しく休業狀態となり居りしが今回荒井泰治氏を社長とせる南滿礦業會社之を引受け採掘の準備を進めつゝあり從來滿鐵が之を放棄せるは大規模經營に適せざるためにして炭質の不良なるにあらざれば採掘方法宜しきを得ば石炭排底の今日其の成績大いに見るべきものあるべしと期待せらる(奉天)

◎殖邊銀行と蒙古

北京殖邊銀行は今回內蒙古拾里木盟所屬の郭爾羅斯旗地に分行を設立すべく蒙藏院に對し該旗王公と商議方を懇請せりといふ(奉天)

慶北共進會

協賛會事業と設備

(談) 協賛會長 中野大郎府尹談

◆美術品展覽會 共進會の開催に一段の光彩を添ふるものは實に美術品展覽會の開催なり該展覽會は協賛會事業の一部として共進會期中開催せらる、ものにして出品の範圍甚だ廣く東西新古書畫及び美術品の全體に亘れり會場は府內上町即ち慶北道廳の構內なる頼慶館を以て之に充つ同館は上町より西方本町通りに通ずる大道路に面し東雲町なる共進會場を西方に距る約九町の地點に在り展覽に供せらる、書畫及び美術品は悉く斯道に於ける第一流人士の秘藏に係る逸品にして協賛會より選拔する審査員の合議によりて一々其取捨を決す會場に充てらる、頼慶館は階上三十五坪階下廿六坪の陳列面積を有し階下には東西の新古美術品を陳列すべければ新進作家の各種彫刻幾百種の多きに上る古代の佛像什器を始め朝鮮にて有名なる高麗燒殊に舊時の本場として見逃すべからざる新羅燒の珍品其他最古の遺物として僅に殘存せる曲玉、石斧、石鏃等は此區域に於て尚古家を括目せしむべく階上は朝鮮、支那、日本の書畫は勿論新進畫家の水彩畫、油繪等より日本畫として各派の粹を蒐むべし右の外李王家よりは特に協賛會の希望を容れ諾せられ秘庫所藏の古書畫美術品等多數の重寶を出陳せらるべければ錦上花を添ふるの趣きあらん

◆敎育品展覽會 同會は慶尙北道敎育會の主催を以て共進會の開催を機とし會期中十一月十二日より十八日迄七日間の豫定にて開催せらる、ものなり(大邱)

會場は市內南龍岡町なる大邱尋常高等小學校の建物階上階下敎室二百七十六坪を以て之に充て出品は道內各學校即ち小學校四十六校普通學校四十九校私立學校三十五校高等女學校農業學校及び普通農業學校各一の生徒學業成績品工藝品並に其他の參考品を初めとし其他無數の各種出品は悉く此會場に蒐集せらるべければ共進會場を一巡せる觀客は必ず就て一覽し本道內鮮兒童敎育の進歩を合點せらるゝの價値あるべし

◎浦項協賛會事業

◆水族館 浦項協賛會にては共進會期中浦項に水族館を建設すべく敷地選定中なりしが愈々迎日水産組合南側なる千餘坪の空地と決定したり館には迎日灣より海水を揚ぐる設備を施し慶北東海岸より漁獲せる魚族を放飼するものにて石橋水産技手、井上水産組合支部長等設計其他に就て昨今考案中なり尚ほ水族館內其他の設備及び入場者接待方法に就ては浦項繁榮會にて一切盡力すべく準備の歩を進め居れり(浦項)

◎御眞影の奉藏庫

大邱公立尋常高等小學校にては曩に大邱山中商會主の寄附に依つて建設されたる御眞影奉藏庫の工成りたるを以て去る二日午前九時より御眞影奉遷式を擧行したりと(大邱)

◎間島の物價

◆從來と全然一變す◆

從來間島に於ては輸入品は別として薪炭及び農産類の如き現地產出の物資に至りては潤澤なるに任せ比較的廉價なるを誇りとし生活に取りて樂天地と見做されしが一昨年來農產物資の輸出頻繁なるに刺戟されて是迄維持せられたる物價の平調に著しき大動搖を生じ近來其奔騰振り實に驚くべきものあり這は一面各地を通じての好景氣に支配せられたるに據る所多く外部の刺戟に會し急激なる變動を與へたるものにして此現象は間島過渡期として萬止むを得ずとするも生活難の聲は漸く高く殊に俸給に衣食する者にありては痛切に其打擊を感ぜしめ居れり而も輸入品に至りては運搬難に陷り居背車輛に據るは運送賃銀が上にも暴騰を告げ此負擔大なるより近來輸入品は破天荒の相場を現はし九月末輸入日用品の小賣相場左の如し

精白米(斗)	四、八五	味噌(百匁)	一〇
醬油(升)	、七五	半紙(帖)	〇八
石油(罐)	七、二五	狀袋(百枚)	四五
清酒(升)	一、一〇	ホヤ(五分)	一二
麥酒(打)	一、二〇	塵紙(帖)	〇八

更に間島產其の他の相場左の如し

大根一本(三錢)白菜百斤(二圓五十錢)薪百斤(一圓五十錢)石炭千斤(五圓餘)

◎陸棉の買入値段

晉州工場陸地棉買收値段はミツドリング一百〇八圓に諸費用を控除し特棉一等三十一錢四厘、二等二十八錢二厘六毛、三等二十一錢九厘八毛、四等十五錢七厘と決定せり(晉州)

◎北鮮の鱈

北鮮地方秋季鱈漁期に入れるより九月中旬來端々漁獲あり漁獲物は開き鱈に製造しつゝあるが本年は一般魚價高騰の折柄とて相場も高價を唱へ魚市場にて執行せる本年十二月末までの漁獲物に對する契約入札は一尾七錢五厘にして之を前年に比すに倍額以上の突飛なる價格なるが

此の外諸工賃を見るに左の如く由大工日本人一日三圓、左官二圓五十錢、支那人及朝鮮人日傭人一日七十錢

濱の鰯漁が不漁なりし爲漁業者は本秋の漁獲を期待し居れり(淸津)

十月の天象

左に掲ぐるは理學士小倉伸吉氏調査科學世界所載『十月の天象』と題する記事の概要にして時刻は朝鮮總督府觀測所調査の仁川標準時に據りたるものなり

◇太陽 九月寒露二十四日霜降の太陽南中時刻(京仁)左の如し

氣節	日	日南中
寒露	九	後零時 一〇、四九
霜降	二四	後零時 一七、三三

尙ほ日の出入時刻は既記『京日暦』に掲載せしを以て省く

◇月 月の出入左の如し

月	日	時
新月	五	後 〇、〇五
上弦	一三	後 一、〇〇
滿月	二〇	前 六、三〇
下弦	二七	前 二、五五

◇水星(辰星) 月始めには曉の星にして日出に先立つこと約三十分に東天に現はれ十五日には水星太陽及び地球は略一直線上に來るのち宵の星となれども日沒後間もなく沒し觀望に便ならず

◆金星(太白) 曉の明星なれども日出前僅に一時間乃至三十分に東天に現はる、を以て觀望に便ならず。天球上獅子座、乙女座を東方に運行す

◆火星(熒惑) 日沒後三時間餘にて西に沒し尙ほ次第に觀望の便を失ひつゝあり。天球上蠍座及び蛇遣座中を東方に運行し赤色一等星大の光度を有す十日には著しく月に接近す

◆木星(歲星) 夜半頃に東天に現はれ天球上雙子座中に在りて極めて著しき光を放ちつゝ次第に觀望の便を增しつゝあり。二十五日には月に接近す

◆土星(鎭星) 曉の星にして日出前三四時間に東天に現はれ次第に觀望の便を增しつゝあり。獅子座アルハー星の附近に在りて一等大の光輝を放ち極めて徐々に東方に運行す(以下略)

◎棉の當り歲

◆四年來になきこと◆

慶北の米棉の作況其他に就き某氏の語る所を聞くに本年度陸地棉の作況は既往四年來に無き良好の作況にして且つ一般農民に於ても米棉の作付けに就いては逐年好感を以て迎ふるに至りつゝあるが如し而して本道內の米棉は去る十日頃より摘採に着手し目下約一割の摘採を了し居り全部の收穫は十一月上旬を以て終了の見込なるが本年の收量は今日の所反當七十斤乃至八十斤の收穫を見る見込の由相場は大阪相場を基準として採算するときは一等棉約三十錢の相場なるべく左すれば反當り二十圓以上に上るならんと而して一般農民に就ては從來麥の間作として米棉を栽培したるが如き幾分疑惧の念を抱き居たるも當局者の指導と奬勵に依り漸次斯かる謬見を除去するに至りたりと何しろ本年は綿作の相場異常に高騰せるを以て一般農民は本年の摘採を了へたる曉は播種量を殘し他は凡て手放すに至るべく當局に於ても前年同樣之が買捌に付き鈴木繰綿工場と協商中なりと(大邱)

◎儲かつた話

◆有卦に入つた特產商◆

多きは五六萬圓

少きも尙一萬圓を下らず

四平街に於ける滿洲特產物取扱商は朝鮮銀行及び四平街銀行の圓熟せる金融の後援と四鄭鐵道の開通とを俟つて四平街を策源地として大に蒙古方面に活躍したる結果六個の商店中最も少き店にて一萬圓を下らず多きは五六萬圓の利益を得たりと是れに倣ふてには非ざるも新に四戶の同業者今秋より開業すと云ふ(四平街)

◎慶州城

新羅の古王都

(上) 文學士 小田省吾氏談

今を去る四百九十三年以前即ち李朝第四王世宗七年、各道に命を下して、各道府州郡縣歷代官號邑名沿革離合等を調査し、一定の規式に依り撰にせしめ之を材料として春秋館の史臣をして八道地理志を編纂せしめたり。其の當時各道より撰上せし地誌は悉く滅びて今知ることを得ず。獨り慶尙道地理志一冊のみ、永く慶州府に存置せられしが、幸ひに幾多の災厄を免れ、何時の頃よりか奎章閣に移藏せられ今日に及べり。又世宗が春秋館の史官に命じて撰せしめたりと云ふ八道地理志は、現に世宗實錄中に收めらる。而して世宗の時各道地理志撰上の命ありてより四十四年の後、第八王睿宗元年、更に同樣の命を各道に下し、前に撰上せし地理志の遺漏を補ひ且つ其の後の沿革を附加せしむ。此續撰地理志も亦悉く滅びて傳はらず。是亦獨り慶尙道の分のみ今日に殘存するを得たるは眞に僥倖と謂ふべし。但し兩種の慶尙道地理志現存の者は共に其副本なる事序文に依り明かにして、何れも多年傳來の間に多少の缺損を生ぜるは惜むべし。睿宗が續選地理志の選上を各道に命ぜしより十二年後、第九王成宗十二年に至り、東國輿地勝覽五十卷成る。是即ち現時一般に流布する新增東國輿地勝覽の原本たり。されば睿宗元年選上の分並に其以前の地理志が勝覽編纂の資料となりしや殆ど疑を容れず。今試に慶州邑城に關する記事を順次に列記すれば、即ち左の如し

(イ)慶尙道地理志 慶州邑城、周廻六百七十九步、內有井二十五[illegible]八十

(ロ)世宗實錄地理志 邑石城、周廻四千七十五尺、內有井八十

(ハ)慶尙道續撰地理志 府邑城、石築周廻四千七十五尺、高十二尺七寸、有軍倉、洪武戊午改築、池三、井八、冬夏不渴

(ニ)東國輿地勝覽 邑城、石築周廻四千七十五尺、高十二尺、內有井八十

前記の內邑城の周廻をば續選地理志は尺に換算し(朝鮮里程一步は六尺なれば六百七十九步は四千七十四尺にして一尺の相違あり)輿地勝覽亦之に據りしが井の數他書皆八十とせるに獨り續選地理志のみ八とせるは甚だ疑はし惟ふに續選地理志の正本には必ず八十とありしなるべく現存の副本は書寫にて比較的粗末なれば恐らく八十を八に誤記せしものならん慶尙道續選地理志に掲げたるものに「洪武戊午改築」以後の沿革は東京雜記(今より二百四十九年前閔周冕補編)に左の記事あり

◆邑城◆石築周四千七十五尺高十三尺內有井八十○、徵禮門邑城南門也、火於壬辰兵亂、崇禎壬申、府尹金規重修、東西北三門次第繼建

之に依りて見れば文祿役に加藤淸正の率ゆる我が第二軍が攻めて慶州を拔きたる際又は其の後に邑城は大破損を蒙りしものにして邑の南門たる徵禮門を修築したりと稱する崇禎壬申五年は實に文祿慶長役後四十年洪武改築後二百五十四年なりとす。されば崇禎壬申(今より二百八十六年前)後幾何もなく邑城の原形を回復したるならんも其の後の沿革に付いては全く之を知るの資料を發見せず最近に至り該邑城の西及び北の方面は全部取拂はれ僅に東南の一部を存するのみ其の何時の頃よりかを詳らかにせず聊か知り得たる所を記して探究の資となす(終)

★獵信★

◆今歲は獵期が遲れた◆

猛獸狩の秘訣

―平壤より―

雁の鳴くのに白地の浴衣と云ふ季節がモウ既に來たのである要西鮮も野に山に或は川邊に日曜日抔は獵銃を肩にして好獵家が此處彼處に徘徊して良き獲物御參なれと待構へてゐるが本年は氣候の關係上まだ思はしき獲物が無いらしい狩獵家に聞くと確に

例年より一月遲れ

てゐるだらうと云ふことである尤も雁や鴨が平壤の空を列を整へて通過するのを見たことがない昨年なんか十月の初旬に黃海道方面へ赴いた連中で隨分澤山の獲物を搬へ凱歌を奏して引揚げて來たが今年はそんな氣配もない」それかあらぬか

天狗達の功名話も

一向に耳にせない先づ十一月に入らねば駄目だらうと好獵家の鼻も高くはなるまいと思ふ、其處で獵用火藥に就て一寸趣味ある話を爰に紹介して置きたいと云ふのは

猛獸狩には必らず

無煙火藥を用ふる必要があるそれは何故かと云ふに先づ恐ろしいとか云ふ樣な猛獸になるとズドンと一發館に中ると其音響が何處で發砲したと云ふことが

◆獸の方で鑑定が付かぬ◆

夫ゆゑ痛手を忘れ仇敵何れに在りやと四方を睨み廻す、サアさうなると致命傷を蒙つて居ない以上は死力を盡し

所謂る獅々奮迅の

勢ひで發砲者を目附て之に目覺けて突進して來るソれは何を以て發砲者の居所を知るかといふと有煙火藥の煙を目標として來るのであつて往々危險狀態に瀕することがあるが之を防禦するには

是非共無烟火藥で

なければならぬと猛獸狩に經驗ある平壤の某獵客は語つた(平壤)

「張三李四」

◆間島で贋札を使ふ◆ 間島へ朝鮮銀行出張所開設以來朝鮮銀行券の流通劇しきを奇貨とし不逞鮮人入込み贋造券を行使せるため此程其內二名檢擧せられたり

◆松茸の買占行はる◆ 本年鎭南浦、平壤地方の松茸不作なりとの事にて早くも鮮人農家へ前金を渡して買占めつゝある內地人の商人在るとは油斷も隙もならず

◆貸手拭と穴剃廢止◆ 木浦理髮組合にては衛生上客へ貸手拭を廢したるが元山同組合にても今回貸手拭を廢し且つ鼻と耳の穴剃を一切全廢するに決定したりと

◆賃子を捨て駈落ち◆ 福岡縣大里井澤才助內緣の妻福島だい(三一)は夫の出稼中山本市太郎(二四)と不義をなし賃子(二)を捨て朝鮮方面へ逃走したる形跡ありと

◆西瓜の中へ阿片を◆ 西瓜を刳拔き中へ阿片を詰て密輸せし支那人元山にあり其他間島歸りの支那苦力農夫にて阿片密輸者多く元山にて多數檢擧されたりと

台所 其の日

◆豌豆の茶巾絞◆ 豌豆五合の皮を剝き茹でゝ、全部裏漉にかけ味醂、砂糖、水飴等にて杓子で攪き交ぜながらきんとんよりは少し固めに手で取り扱へる位に煮詰めたものを大匙一杯位つゝ左の手の平の上に綺麗な布巾に擴げた上にちよぼつと置き紙人形の頭を作る樣な工合に首になる部分の所を一ねぢり捩して取り出しますと誠に美しい茶巾絞りが出來ます之を口取等に用ふも結構です

生れ付の黑髮と同じ色に染る

■一度使へば何時迄も使ひ■

■心地のよい無比の染色劑■

▲眞正の染毛劑 茲に御婦人には勿論、男子の方々にも、喜ばしい御報道があります それは有名な健腦丸本舖丹平商會の發賣に係る染毛劑で、學理と實地の經驗を重ねた眞正の完全な染毛劑が發見された事であります。

▲東洋各地に擴まる 斯う言へば最早大概の人は、其の染毛劑といふのは、あのナイスの事だらう」と斯う見當を附て終ひます。全く其通で、それ程此しらが赤毛染ナイスは、瞬く間に有名になり、內地は素より支那、印度其他凡て髮の毛も黑く艶やかに美しいのを尊ぶ國々に擴まつたのです

▲專門學者の勝利 御承知の通り從來のしらが染といふのは不完全なもので眞正の染毛劑とは申されない品が多いので どうかして立派な完全な染毛劑を作りたいと、專門の藥學者達が最新の學理に照して、熱心に研究された結果、非常な苦心の下に完成したのが、即ち今最も賣行のよいナイスであります」マー申せば學問の勝利と言つても宜しい。

▲惡い色とは……？ 此處に二人の人を置いて、一人にはナイスで、外の人には外の染毛劑で染させて見ると能く分ります ナイスで染た髮には、決して厭な色がありません。厭な色とは、紫色がかつたり、惡くテカテカ光つたり」さも憎らしい變な黑さになつたり、分に黑く染まらないで、然うかと思ふと安い墨の汁のやうな些とも光澤がなかつたりする、其れが厭な色といふのですが ナイスは反對に非常に好い色に染まります。

▲美しい色とは……？ ナイスで染た髮の毛は、たとへどんな白髮や赤毛や縮毛でも、不思議に黑く艶やかに美しく染まるのです。其して其色も艶も憎らしくないのです。丁度生れ付髮の大層好い人の髮といつた工合なのです。常日頃其の人の髮の毛の惡いのを知つてゐた人は、おや何時の間に髮が生ね變つたんだらうなぞと怪しむくらゐなのです。こんなに自然の色澤に、シンから美しく染まる染毛劑が出來たといふ事は婦人は勿論、男子の人々にも全く意外の救助と言はねばなりますまい。道理で凡て髮を染る必要のある人々の間には大した好評でナイスが專ら流行してゐます。

▲有名な特色 今言つた染色と艶の外に、ナイスは正確に二十分間で染まり、色が枕や襟に附く事が無く石鹼等で洗つても染た色が剝げず、從つて一度染れば非常に永い間色が保つので度々に染る手數が無く其して染方が誠に手輕である。是をナイスの五大特色と言つて有名なものになつてゐます。

▲見られなくなる ですから各大博覽會に於て名譽金銀牌を受領したのは獨り染毛劑中でナイスの誇る處であります。ナイスの價は大瓶七十錢、小瓶四十錢、男子用三十錢で、日本內地それから東洋各地の化粧品藥店に取次いで賣つて居ます。ナイスが益々流行するにつけて行々は毛髮の白い人等は見かけられなくなるでせう。

女子事務員募集 筆の達者な方で市內に住み通勤することの出來る女子數名入用希望者は自筆履歷書携帶晝間御來談下さい 本町 熊平支店 電話六一四番 三二五番

業務擴張 實物廣告 特典 特劵 ご說明書申込次第送呈

天下一品 岡田式製繩機 岡田式製莚機

附貸 大阪北區芝田町 發賣 岡田機械商會

好評經濟的事務用 金ペン付 パイジンビネスペン 定價壹圓九拾五錢 京城本町通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

大連燒酎 特約販賣店 仁川 河野本店 京城 河野支店 木浦 阿遞倫商店 同 山口號本店 同 山本酒店 群山 山口號支店 同 長谷川商店 釜山 增永商店 同 山邑支店 鎭南浦 吉富商店 大連市大連燒酎製造所

古着卸 出品豊富 伊豫松山市本町七 小倉長太郎

廣告 ▲鐵鑛區 ▲鐵石鑛區 右多少に不拘高價買入す 平壤本町 岩田商店

父寅次郎儀豫て京都大學醫院に療病中の處藥石効なく去る三日死去仕候に付此段謹告仕候 追て葬儀は遺命に依り郷里岐阜市に於て相營み可申候 大正七年十月八日 男 加藤左馬吉 男 與一

商況

東京期米特電
八日前場 一節 三十二圓丁度

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電

種類	拂込額	五日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
七日前場 十月限 四二〇.〇〇 十一月限 十二月限 一月限 二月限

大阪期米特電
七日後場 三十四圓五十錢

下關期米特電
未着

雜報

三品大反撥
前週米四百圓臺割れに賦込みし大阪三品は日曜明けに至り急激大反撥を演じ當限四百二十圓を報じたるは聊か意外なりしが綿布は既に行過ぎの觀あり三銘十三圓六十錢と頭重き入荷なり延いて市中氣配も不勢を示し商内又扱々しからず

正米氣配呆け
釜山及沿線地方は昨日更に高報を移し居れるが今朝の當正米市場は聊か氣配呆けの模様にて買人側一二三十錢方附値安く…

引渡し一段落 既約注文の早晩漸落

染料六入暴騰

割安品は漸次一掃

七八圓方の騰貴 各種共四圓乃至

十五圓方の大暴騰 十七圓乃至三

牛皮は強硬

畜皮の出廻へ稀薄

砂糖強持合

新鮭頗る好調 高値約三四割

下關相場

各地商況

大邱米況(七日)

釜山穀物市場 七日

京城正米市場

附口安く市況

署は同見當

仁川正米

南大門廻穀

生魚市場

仁川期米

寄付十錢高

東京前場一節 高く三十二圓薄

照り報に依然保合

限高か思はしむ

中限安か先

市場雜觀

一圓四十五錢高 寄付直停止直

延賣物を呼

仁川米豆取引所
八日の十二月限

北濱たより

大株と大新

白米小賣値
一等白米 四十錢
二等白米 三十九錢五厘

白米標準値
四十四

青物小賣値

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 齊藤榮之助
仁川米豆取引所仲買人 唐澤正次郎
仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎
仁川米豆取引所仲買人 仲買店

毛谷村六助 卅六番角力
第廿九席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

安東縣近事

院長 醫學士 森定吉 森病院 京城明治町二丁目 電話二六一三番

十月十日 九星

一番よくきく マラリア特効丸 龍山林藥房製劑 本舖 林藥房

漬物問屋 大阪市南區 森内商店

日本一

最上清酢 ほまれ味噌

醬油 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

こうすれば毛が生へる

子宮病血の道とリウマチスに悩む人は

こんな徴候の人

彼れ是と迷ふ無く眞に能く効く 神疝湯を

本舖 荒川長太郎

五光商會汽船廣告

日本郵船出帆

共同汽船出帆

尼崎汽船出帆

朝鮮郵船出帆廣告

京城日報　第五版

本紙定價（一ヶ月七拾五錢 ほか）　廣告料金（五號十五字詰一行一圓五十錢 ほか）
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

京城日報

朝鮮同胞に告ぐ(13)

日本自覺特に神道に就き

神道の本體(下)

大精神は固より小精神を包容す。然れども小精神の總合體が即ち大精神となるにあらず。何となれば小精神は差別相なり、對待性なり、有限なり相對なり。大精神は一切の差別相を超絶し、無邊無際涯ならざるべからざるを以てなり。有限を積みて千萬億に至るとも、以て無限大に達すべからざるは、こゝに架說するまでもなし。

小精神は差別相なるが故に、我他彼此の間に衝突矛盾を起すを免れずと雖も、一たび大精神に歸入するときは、圓融無礙、泯然として痕跡を留めず。之を統攝の妙理といふ。統攝とは個々の小精神を裁制補綴して、一時の調和を圖るのいひにあらず。之を自己の一大鎔爐の裡に投じ、一切の衝突、一切の矛盾を消融し去るを云ふなり。

然るにこゝに一個の疑問を發するものあり、曰く社會には惡事非行の絕ゆる時なし、其の大にして顯なるものは、國法之を罰し、其の微にして細なるものは道德之を裁す。而も此の惡事非行皆小精神の發動ならざるなし、是れ宇宙間に小精神中に罪惡の根原を有するものなり。大精神は如何にして此の罪惡の根源を消滅せしむるを得るやと。之に對へて曰く、凡そ罪惡の根原といふが如きは、基督教徒が能く口にする所なりと雖も、近世の學問は善惡二元論を採用せず、從つて彼徒が所謂贖罪說の如きは半文錢の價値を認めず。我神道には初めより絕對の惡なるものなく古往今來罪惡の根原といふ如き觀念の存するなきなり。國典大祓は罪と穢を解除して、自ら新にするの大義を宣するものなるが、其の祝詞に(上略)かく聞し食しては、皇御孫尊の朝廷を始めて、天が下四方の國には、罪といふ罪はあらじと、科戶の風の天の八重雲を吹き放つことの如く、朝の深霧、夕の深霧を、朝風夕風の吹き掃ふことの如く、大津邊に居る大船を、舳解き放ち、大海原に押し放つことの如く、彼方の繁木が本を、燒鎌の敏鎌もちて打掃ふことの如く遺る罪はあらじと祓たまひ淸めたまふ(下略)とあり。即ち天の益人等(衆庶)が過ち犯しけむ雜々の罪事は、此の如くして一切を祓清めらるるなり。即ち個々の小精神の罪過は、大精神に歸入して、一毫の穢を殘さざるの意を明かにせるなり。絕對の罪惡は、如何なる推論を以てするも、到底之が消滅を說明すべからず、況んや之を解除するの方法あらんや。日本神道は衆庶の罪惡を以て『過ち犯す』ものと爲し、初めより其の根原なるものを認めざるが故に、一たび之を懺悔して大精神に歸向するときは淸淨潔白の本質に返るものと爲すなり。蓋し社會の稱して罪惡と爲す所のもの、人を殺すを以て大なりと爲す。然れども人が殺傷することは決して絕對の罪にあらず。戰場に於いて敵人を殺すは、國家の褒賞する所、道德の賞勵する所ならずや、世に絕對の罪惡の存せざる之を以て知るべし。要するに社會に行はるゝ各種の罪惡なるものは、個々の人格が、其の權限を踰越し、若くは我執に依りて他の人格を無視するより來る所のものにして、別に罪惡の根源ありて、之が動作を現じたるにはあらざるなり。即ち小精神が規律の外に逸したる一時發作的の現象なるが故に、其の本來に歸り、大精神の統攝に會ふときは、直ちに融解し去るといふは、神道の罪惡に對する觀念にして、其間にいふべからざる至妙の存するなり。

問者又曰く、吾子の大精神を說くや善し。然れども宇宙の實在以外に所謂大精神なる無邊無涯のもの、存するを許し得べくんば、實在も亦相待性のものたらざるべからず、是れ哲理の容れざる所なりと。之れに答へて曰く、問者の所謂實在とは可想的のものにして、思議すべき性質のものにあらず。我日本神道は天祖に於て完全なる大人格を認むるものなるも、人間の認識と經驗とを超絕したる實在を捉へんとするほどの、無用の勞を費すものにあらず、耶蘇宗敎は人類の心理的作用に起るものなれば、心理作用の及ぶ能はざる宇宙の實在を云々するも果して何の効かあらん。況んや神道は空理空談にあらず、實際的教旨にして、事實に於て民心を統攝するものなるが故に、哲學的の高談を必要とせざるなり。(了)

國本培養論(五)

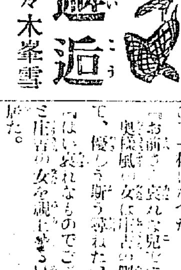
中井錦城

第四農事の改良を爲すには、猶ほ一層の努力を要す、即ち先づ秋耕を努むるの習慣を釀生するを要す夫れ秋晩收穫の後に當つて、深く耕地を鋤轢し、土壤中に空中の肥料分を吸收し置くは、大いに翌年收穫の增加に驗あり、勿論灌漑の水に缺乏せる水田丈は、秋耕の爲め翌年却て用水の乾涸を來す虞ありと謂ふも、其他は必ず秋耕の効果あるを見る。仄かに聞く、さる道に於ては、某郡守が秋耕を奬勵したるを咎めたるに拘らず、其後に秋耕の訓示を下せしかば、同郡の庶務主任より命令の矛盾を難詰せられ、非常に窮したりとか、余が曾て咸鏡北道の地方官に在職せし時、大に秋耕を奬勵したりしが、未だ全く實行せられずして已みぬ、思ふに今日も亦然るならん、此の如くに於ては全朝鮮の生產額に關する尠少ならず、宜しく强制的に之を實行せしむべきなり。

次には盛んに副業に努むるを要す前述の如く農家は生活費を其本業のみに求むべからず出來る丈副業の所得を以て之を補充するの方法を取るべし、而して朝鮮農家の副業とは如何なる事業なるや、彼の養蠶の如きは、無論農家の本業に編入し、副業と稱すべからざるも、所謂副業は寧ろ枚擧に遑あらざるべし、曰く養雞、養豚、曰く果樹栽培、曰く木炭製造、曰く柞蠶飼養、曰く蜜蜂飼養、曰く藥草採取、曰く椎茸栽培、曰く藁細工、曰く麥稈細工、曰く杞柳細工、曰く竹細工、曰く細草細工、曰く木器製造、曰く木履製造、曰く諸種の編物、曰く油製造、曰く製紙等是等は皆其の重要なるものとなす、若し地方官が其の材料の現存する所に從ひ、之を奬勵したらんには、到る處副業なきに苦しまざるべし、されば農商工部は一の內論を發し、遍く地方官に命令し、每面必ず年額一萬圓以上副業上の收入あらしめ、若し其の成績を擧ぐる能はざる郡守あらんには、速かに之を免黜することゝせば、各面競つて副業を案出し、其の經營に努むるに至るべく茲に全朝鮮に亘つて、副業の所得夥多なるものあらん。

次には面財產の設定を要す、內地に於ては漁業、森林の收入及び富豪の寄附を以て村費を支給し、一錢一厘たりとも村稅を納むるに及ばざる村あれど、朝鮮の如きは未だ以て其域に達する能はず、而も面財產の所得を以て、少くとも面費を節約するの必要を見る、面財產には諸種の物件あるべきも、差向き山林を所有するは最も容易にして、且つ其維持に經費を要せざるなり、されば總督府は各面をして、其山嶽の面積に應じ、幾分を所有せざるべからざることゝ規定し、面の人民を强制し、一箇年の內幾日かは樹木の植附け及び開墾を爲さざるべからざる義務を負擔せしむべし、此の如くせば不知不識の間に樹木生長し、立派なる面財產を作成し、又盜伐の患ひも免るゝを得ん、近來朝鮮に於る材木の價非常に騰貴したりと謂へば、山林を所有する程利益はなかるべし、夫には是非とも內地人を面長に指命し、此の大任を負はしめざるべからず。

最後には面の洞及び里には必ず一の靑年會を設立するを要す、今や內地の農村にては、各村に靑年會の設立ありて、村の事業は多く此の施設に係り、成績頗る觀るべきものあり、朝鮮も之に倣ひて、靑年會を設立し、面事業を振興せしむべく、獨り之れを面役場の面長のみに委任して、萬事了れりと爲すは、決して其當を得たるものと稱すべからざるなり、余は咸鏡北道在職中幾多の靑年會を起し、漸く其成績を擧げんとするに際し個々韓國併合に會し、靑年會の如き結社は、之れを不許可とせられ、遂に廢止の不幸に遭遇したるは、誠に惜むべしと爲す、然るに一の記すべきものあり、即ち同道會寧郡の會寧邑に、斯民會なるものありて、其の靑年會の名を冠せざりし爲め、幸ひに禁止の厄を免れたるが、余は其の成立の時に當つて、同郡に厚く保護を命じ置きしことあり、余は咸鏡北道に官吏たる前、會寧邑に到り其附近を觀しこと有りしが、邑の北には豆滿江の河原一面に擴がり居りしもの、昨年余が會寧に遊びし時には、其の河原か耕地に化し居りしには一驚を喫したり、依て其邊を徘徊して河畔に至れば、一大堤防の現出せるあり、就て聞けば是れ斯民會の築造に係れりと、以て靑年會の如何に効果あるかを證するに足る元來朝鮮には、古より各面に靑年會の如きものありて、能く老者の言に順ひ、面の事業を經營し來りしが、大院君の攝政となるに及び天下の己を謗るを恐れ、人民の五人以上集會して會議するを禁じ、以て反逆の跡を絕ちたるも、是が爲め面の申合せなるもの廢止せられ、所謂農村自治が破壞せられたるより、人民堤防の修理に任ぜず堆肥の製造を怠り、牛種の選擇を努めず、防風林を伐り倒し、山林を濫伐し、其の結果洪水氾濫して、田畑は荒蕪に歸し、地味は次第に磽确となり、果ては土砂の散失を防ぐ爲に、態と石礫を畑に運び込み咸鏡北道江原道の人民の如きは、今猶ほ石は畑の肥料なりと誤信するに至り、又從來賭博を爲したるものは、村外れを命ずるの制なりしに、今度は賭博を爲さゞるの故を以て村外れを命ぜらるゝこと爲れり、余は明治四十二年の東京博覽會に當り、咸鏡北道の道民二名を觀覽の爲め東京に派遣したるに、其一人の老人は歸つて報告すらく、老生の日本見物は、主として農事視察に在りしが、日本の農事は誠に感服の外なかりし、然れども退いて考ふるに、是れ決して感服に及ばざることにて、朝鮮の農事も六十年前迄は實に日本の如くなりし、唯大院君攝政の爲め、農民の次第に農事に努めざるに至れるより、斯く荒廢を來したるなり、而して之れを救濟するの道は、一に貴官の唱道に係る、靑年會の發展に在りと思料すと語り了つて悵然たるものあり、故に今靑年會を起し、面の事業を經營することゝなせば、面興業の要務たる、道路の設定、面事業の經營、民風の改良、勤儉貯蓄等、總て難事にあらず、余が朝鮮政府時代に於てすら、其の實行に努めたる程なれば、今總督政治の威力を以て此設立を命ぜんには、し一擧手一投足の勞ならんのみ。



邂逅　十五

佐々木峯雪

袖乞ひ(三)

『奧樣少々お惠み下さい、哀れなものです、ねゑ奧樣……』

年頃十歲位の、蓬の如に亂れた髮の、痩せ衰れた身體に、肩と尻とに繼布の當つた垢染んだ着物を着た子供は、折柄通り合はした二人連れの奧樣風の前へ立つて、ペコ／＼と幾度も頭を下げて哀れを乞ふた。

それは庄吉であつた。

庄吉は小さい胸にも盜み取りする氣にはなれ無かつた、けれど日に一圓のお金は今迄通り八百屋だけでは儲け得られ無い、昨日の晚は餘程都合よく元を買つたので四十五錢の儲けはあつたが、あゝした事はほんの稀である、どうしても朝と夕方と、血を吐くやうに賣り步いても、七十錢そこ／＼である、それに惣兵衞は日に一圓の金が五錢缺ても承知爲ないと云ふ然し盜み取りする事はどうしても能き無い、と思ふのでいつか天王寺の境內で見受けた袖乞ひの事を思ひ浮かべて、寧そあゝして情ある旦那や奧樣方から、惠みのお錢を貰はうと思案を極めた庄吉は朝の得意廻りを終つて、夕方の資金を引き去つた全部の金を惣兵衞に渡して、冷たい茶で少量の粥を啜つて、天王寺の東門の際へ來た。

十幾町の道を、疲れた足で天王寺へ辿り付いて、第一に御堂の本尊に禮拜した。

佛敎の最初の地、聖德太子の御創設として名高い天王寺は、流石に人の往來が多い、諸國の靈場巡禮を巡拜する業者、太子の遺德を慕ひ、堂宇の壯嚴を見やうと遠國から遙々訪ねて來る物、市中の善男善女、斯うした人が境內の此處彼處を織るやうに通つた。

『奧樣どうかお惠み下さい』

庄吉は細い苦勞に痩た兩の手を合せて拜むやうに女の前に立つた

『まア五月蠅』と其の一人は脇へ外れた、

『奧樣、哀れな者でございます、どうかお惠み下さい』

庄吉は情無い今の境遇に、思はず淚を浮かべて、もしお父さんが居たら斯んな恥しい、こんな辛い苦勞は爲無いで濟まう、其お父さんは死んでは居ない、昨夜も夢に見た、確に活て居る、それに何故逢はれ無いのであらう、

何故この苦勞がお父さんに知れ無いんだらう、切めては此ごでも好い夢にでも見てくれさうならだ、そして迎ひに來てくれさうなもんだと、庄吉の胸は斯うした思ひで一杯になつた、

『お前さん、哀れな兒だつて……』

奧樣風の女は庄吉の側近う寄つて、優しう斯う尋ねた。

『はい哀れなものでございます』

と庄吉の女を視上げる目は光つて居た。

『さう』と女は打ち守つて見たが

『でも庄造に能く似た顏だこと』

と獨言のやうに云つた、前に外れた女は、奧樣風の女を見返つて

『奧樣、阿呆らしいですよ、さ行きませう』と促し立てる。

『けどお里、お前には此子家の庄造に似て居ないと思ふの』

『は、あの坊樣に』と事の意外に眼を圓うして『ほんに奧樣、御仰しやる通り眼元の邊が取つて引つ附けたやうですわね』と今更のやうに覗き込んだ。

『奧樣少々お惠み下さい、叔母さん』と小さい手を差し出した。

『どう爲ませう奧樣』とお里と呼ばれた女は奧樣らしい女に向つて云つた。

『さい、どうせ哀れな子なら施して上げたが好いわ、もし庄造がこんなであつたらね』と帶際から女持ちの綺麗な錢入を出して『小錢があつたか知ら……』女は內を覗いて見た。

『細憎無いわ』と云つて無雜作に二十錢紙幣を取り出して、兩の手を差し出して居る庄吉に與へた、庄吉はあまりの大金に愕とした、

『あのこれだけみんな……』庄吉には夢かと喜んで押し戴いた。

新學期開講

漢文講義錄

(講師) 會長 帝國學士院會員東京帝國大學敎授從四位文學博士 服部宇之吉先生
林博士、宇野敎授、安井敎授、村敎授、中村敎授、川村敎授、谷敎授、島田敎授、岡田敎授、井學士、山口講師、平田講師、村學士、池田學士、島田學士、々木學士、大家同人、佐久節、等一流の諸士

(特色) 一 服部博士主宰の下に現代一流の大家を網羅す ……

(學科) ◎修身◎論語◎孟子◎史略◎十八史略◎文章軌範 …… 新天地

講義見本附會則 電話次第申込次第 無代進呈
此際入會者大特典あり
東京市神田區西小川町二ノ一 大日本漢文學會 電話本局三七八〇番
會員大募集

技術員大缺乏の急に應ずる最新式通信教授 造船術講義 就職紹介す見本付規則二錢送れ贈呈 東京本鄕西竹町 日本造船協會

最新刊 朝鮮總督府編纂 地方行政區域名稱一覽 (一名朝鮮道府郡島面町洞里名稱一覽)
本書は大正七年七月一日現在に依り朝鮮總督府、道、府、郡、島、面及町洞里の名稱を蒐錄せるものなり ……
發行元 京城本町一丁目 大阪屋號書店 振替京城二五七三
賣捌 京城日韓書房 岩松堂 京日代理部 釜山大阪屋號

財團法人 電機學校 新校舍十月二十日竣成 新學期開始 生徒募集 校外生は隨時入學を許す 規則書は申込次第送附 東京市神田錦町三丁目 電本局三二五、七九八
講義錄再版 新學期前に刷成

金網入硝子・磨板硝子・擂板硝子・縞板硝子・雲板硝子・雲板硝子
兵庫縣尼崎市 本社 極東硝子株式會社

朝鮮一手販賣店 協同組商業部 京城府南大門通五丁目 電話長一四三番一七六九番

御使用先 朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍 龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫 京城印刷所新築工場 京城本町五丁目

■總裁 大隈侯爵　副總裁 澁澤男爵

實業講習錄

忙しい世の中では最も習ひ易く習へば直ぐに實地の役に立つ實業的學問をしなければ他人と競爭して勝利は得られぬ本講習錄は僅か一ケ年間で現代に最も必要なる學問を極めて分り易く面白く說明せり先づ見本を見られよ。

大附錄 書翰文習字
▲世間で每日使はれて居る手紙の文例を集む ▲手紙を書く時の心得を文例と手本とで敎ゆ ▲一々手本に依りて習ひつゝ實地の役に立つ

●見本 ▲御申込次第無代進呈 ▲講義の內容を明記す ▲入會の手續きを示す

大特典（入會者に限る）▲入會金免除…只今入會者に限る ▲永書草紙進呈…水で面白く書ける ▲奬學資金提供…一等卅圓 其他種々の大特典あり見本を見られよ

最新最良の學科目 ▲商業簿記▲商業地理▲銀行簿記▲經濟講話▲商事要項▲實業讀本▲商業英語▲商品學▲商業作文▲實業習字▲商業數學▲實業歷史▲珠算暗算▲處世法▲商業實務▲科外講話

會費 ▲一ヶ月分六十錢 ▲二ヶ月分一圓二十錢 ▲三ヶ月分一圓七十錢 ▲六ヶ月分三圓三十錢 ▲一ヶ年分六圓

■實業の新知識なき者は必ず失敗す

東京市京橋區南紺屋町十二番地 實業之日本社內 帝國實業講習會 振替東京一八六九番

大隈侯寄稿十月號 大觀

新聞記者としての大隈侯…… 石川半山 知己の …

名士の新聞記者時代
知友の新聞記者時代……矢野龍溪
その頃の逸事逸聞……犬養毅
板垣伯の洋行と自由黨の大波瀾……大石正巳
新聞の通俗化に先驅して……高田早苗
世界の日本と陸奧伯……竹越三叉
王妃事件で入獄の一幕……安達謙藏
新聞懷往時談……島田三郎
中央新聞の社長振り……大岡育造
江戶挑被仰付るまで……尾崎行雄
伊藤公末松子伊東子との關係……朝日奈知泉

現代の思想家に告ぐ 侯爵大隈重信
危險思想と穩健思想 黑岩周六
君德の養成と德義の發揮 富蘇峰
上層階級の險惡なる風潮 浮田和民
如何にして此險惡なる人心を新にすべき乎
若き俊傑出でよ 侯爵大隈重信
事實を事實とせよ 三宅博士

◉時局と五ヶ條の御誓文
侯爵大隈重信 報知新聞社長 時事新報主筆 中央新聞主筆 ……
東京朝日主筆 やまと新聞主筆 東京每日社長 ……

大隈侯爵座談 露國の二月騷動と日本の八月騷動
特種部落 大木伯爵 戰後經營 下の急務 武富時敏

評論と創作
史劇及び史劇論の變遷 坪內逍遙
黃い麥畠…… 田山花袋
巨人の出現…… 上司小劍
落葉して…… 吉田絃二郎
彼と一兵卒…… 鈴木善太郎
東洋道德と西洋道德 谷本博士
所謂特種部落 大隈侯
銀行と民本主義 服部文四郎
本號金五十錢
東京牛込市谷 大觀社 振替東京四〇九五六

仁川米豆取引　八日の十二月限
五十三錢と五落し六十二錢と引返し……
し結局六十錢と打止めたり
後場中限一節二十七圓五十錢四十錢 ……

◇守備隊敵擊破

陸軍省公表＝我ダンブウキ守備隊は東南約三里の地に於て約三千名の敵と遭遇し之れを攻擊し十六名を斃し十四名を捕虜せり（東京特電）

◇過激派ブレスト條約破棄

過激派はブレスト條約の破棄を宣言せりと（通信電報）

◇獨講和條件

獨逸の聯合國に對する講和條件左の如し（合同通信電報）

一、墺國聯邦創設の件
一、露國々境諸州に對する決定權
一、白耳義の恢復及賠償を認むる事
一、アルサス、ローレン州を自治とする事
一、獨逸の植民地を返還する事

◇墺講和條件內容

米大統領の教書及演說に基く

墺匈國政府の米國大統領に對し申込める講和條件は本年一月八日のウヰルソン大統領の教書に列記せる十四箇條及び九月二十七日ウヰルソン大統領の演說の趣旨に基けるものなり（アムステルダム電報）

◇伯林御前會議

西方撤退問題討議

三日伯林にて御前會議あり右は獨逸新聞の傳ふるが如く白耳義海岸撤退公表の豫備として西方撤退問題を討議せり一新聞はアントワープよりアドリアチック海に至る新戰線に兵力を集中して備ふるところ無からざる可らずとの悲觀的議論を爲し居れり（倫敦電報）

◇講和提議に好都合

最近開催されたる獨帝御前會議に於て現下の事態は講和提議に好都合なりと議決せり（倫敦電報）

◇決定的講和手段

匈牙利各相維也納に會合

ケルン、ガゼット紙の所報に曰く、匈牙利藏相ウエッケルレ、チッサ伯アンドラシー及文相アポムニィの諸氏は講和問題協議の爲維也納に會合せり同問題に關しては墺國外相ブリアン伯の發議に基き決定的の新手段を執るやも測り難しウエッケルレ藏相は往訪客に告げて曰く「吾人は再び講和の爲めに努力しつつあり吾人は既に維也納政府と交涉中なり」と尚伯林タアゲブラット紙通信員が信憑す可き報道なりとして傳ふるところに據れば墺匈國は和蘭が各交戰國を招致せん事を要求せるを以て和蘭は既に右勸誘狀を發せりと（アムステルダム電報）

◇土對獨同盟持續

土耳其政府は臨時閣議を開き獨逸との同盟を絶對に持續するに決せり（アムステルダム電報）

◇勃臨時政府組織

倫敦特電に據れば勃國前首相ラドスラオフ及びベスチエフ等は目下臨時政府を組織しつゝあり前國王フエルヂナンド及び王族は維也納に逃走せるもの〻如し（紐育電報）

◇英白國海岸砲擊

白耳義海岸は再び英艦の砲擊を受けたり（巴里電報）

◇海上運輸委員會

聯合海上運輸委員會は明年度に於る米國食糧軍需品其の他の貨物用として各聯合國に割當つ可き船腹問題に就き重要なる協定を見たり（倫敦電報）

◇墺國首相聲明

◇獨軍交通切斷

◇米軍村落奪取

……八日發表すべし（東京電報）

◇職工百餘名[illegible]

◇佛軍君府進入

佛軍司令官デスペレー將軍は君士丹丁堡に軍隊を前進せしむ可しと（東京電報）

◇段內閣員留任乎

段內閣は九月總辭職す可きも閣員の大半は勸誘により後繼內閣成立迄留任す可く段祺瑞、曹汝霖兩氏は請暇の形式にて內閣を去る可く總理は錢能訓氏代理す可し（北京特電）

◇副總統選擧形勢

五日の參衆兩院聯合會は參議院議員百五名衆議院議員總に百八十四名にて衆議院議員は過半數に滿ず今日の形勢にては副總統選擧當日の出席の議員定數の三分の二に達するや否や未定なりと尙同日談話會に於て兩院議員より徐世昌氏に對し總統就任式は前淸の宮殿大和殿に於て擧行せん事を慫慂するに決定せり（北京特電）

◇副總統選擧流會

五日副總統選擧を執行せるに出席者參議院議員百六十名衆議院議員百八十四名にて法定數に滿たず流會となり九日改めて執行すと（北京特電）

◇安福俱樂部個人買收

副總統選擧に就き研究會、討論會にては其期日に缺席するに決せるを以て安福俱樂部は各個人の買收に着手せり（北京特電）

◇東宮殿下還啓

參州の平野に於て擧行されし陸軍攻防大演習御參觀あらせられつつありし東宮殿下には演習終了せるを以て六日午後二時鄕岡より還啓あらせられたり（東京特電延着）

◇陸軍大異動中止

參謀次長後任と同時に近く陸軍將官の異動發表ある筈なりしが山田待命中の大島前陸相も師團長に新補さるゝが如き事無かる可きを以て今回は師團長級の更迭はなかるべしと（東京特電）

◇東京株下落

七日の東京株式先物後場引値は東株百六十九圓同新株百三十五圓十錢郵船株百九十八圓六十錢鐘紡株二百四十七圓十錢朝鮮郵株三十八圓五十錢東拓株七十七圓五十錢滿鐵新株九十七圓九十錢也（東京特電延着）

◇東京期米相場

七日の東京期米は高値三十二圓十九錢安値三十一圓八十錢大引三十一圓八十九錢なり（東京特電延着）

◉木炭取引改善と標準量目

京城及平壤會議所の陳情

京城商業會議所にては新炭の需要期に入り各方面共其の需要の增大せる今日燃料の拂底と一般物價の騰貴に伴ひ木炭の價格暴騰して一般需要者の苦痛甚大なるものあり而も其の價格は俵を單位とせられ一俵中の量目を一定せず或は四貫或は五貫六貫甚だしきに至つては一俵僅に三貫餘を算するに過ぎざるものあり然して俵を單位とし俵に依り其取引價格を決定するに至れる結果一貫當りの價格を算出せんとせば甚だしく亂調子にして殆んど其の見當すら付け難き傾向を示さんとしつつあり加ふるに薪炭業者亦隨つて中味の量目に對して其の責任を負はず單に俵に依つて一般に賣却する爲め此の間の不公平不自然、不正値段は又已むを得ざるものの如くに思惟せらるるに至れる現狀を遺憾とし平壤商業會議所と

▲協力合同し

て京城消費木炭の首位を占むる黃海道の生產品に關し先づ其の不定の量目を排し正當なる量目を基礎とし取引せしめ同時に山元並に產地賣買商人の暴利並に不正手段を取締られむことを望み黃海道長官並に同警務部長に宛て其旨陳情することに決し既に十月五日附を以つて右陳情書を發表せり其要旨次の如し

昨今薪炭の需要最盛期に向ひ當地方面の需要木炭の首位を占むる貴道への生產品は目下陸續として廻著しつゝあり而も近來燃料の拂底と一般物價の騰貴に伴ひ木炭の價格亦隨て暴騰激甚を極め需要者の苦痛甚大なるものあり然るに貴道內に於ける木炭製造者並に販賣業者等は當方面薪炭業者の買付に對し一俵の量目を定めず單に俵に依て取引價格を決定するに至れる結果一俵の中味は從來五貫目內外なりしもの多くは三貫目以下にして甚だしきに至つては三貫目にも足らざるものあり正味量目にして認めに炭俵の標準なく隨つて中味の量目に對し責任を負はず單に俵に依つて一般に賣却する爲め此の間自ら不公平を招くが如き不正値段を生ずるに至り需要者の不利多大なるものあり斯くの如き需給の圓滑を欠くが故に供給者側の態度は如何なる條件なるも需要者側は之を否む能はざる狀態にして取引上の原則を無視し標準量目を定めずして取引するが如きは看過すべからざる現象と謂ふべし乃ち適當の御措置に依り之を取締り正當なる量目を基礎とし取引せしめ同時に山元並に產地賣買商人の暴利並に不正手段を取締り可及的需給の調節に資せられ度特に配慮あらん事を切望し玆に陳情す

◉鮮鐵內地行滯貨

朝鮮線內九月三十日現在に於ける內地行連絡貨物輸送狀況並滯貨狀況を京管局に就き聞くに左の如し

（イ）當局線內各驛滯貨　在荷數量

	本州線米原以東行	本州線彥根以西行	九州線下關及
五月中申込のもの	一、五〇一噸	〇噸	〇噸
六月中同	三、一九一	一、五〇三	〇
七月中同	一、九四七	一、一七一	〇
八月中同	一、三三六	一、〇〇六	〇
九月中同	一、〇九九	二、〇二九	三、八八一
計	九、〇七四	五、七〇九	三、八八一
（ロ）釜山棧橋滯貨	一七六	八八	一五七
（ハ）局線內輸送中のもの	七二二		二八六
合計		一五、七六〇	四、三二四

尙關釜間及び山陽線輸送力中本州米原以東に於て鮮滿發のもの二百五十噸釜山地發のもの五十噸計にして彥根以西に於いては鮮滿發のもの二百四十噸釜山地發のもの六十噸にして計六百噸なり尙九州行に於ては鮮滿發百六十噸釜山地發六十噸にして計二百噸に達し居れり因に當局線發送に對する車扱承認者數は本州行每日十五車九州行四車にして一驛一日の發送噸數は二噸（米大豆を除き）迄にて小口扱貨物は制限を附せざるべしと

◉仁川假設桂燈

仁川港內驛導燈築造工事中同港小月尾島燈臺の方浮標より月尾島頂無線電信主柱北八度五十二分東小月尾島燈臺北十六度二十八分西の水面十呎高位置に燈質不動紅光にして木造蝴形目標三角形紅色の假設桂燈を設置し仁川桂燈立標より木浮標の外方右間に至る延長五百五十七間幅二十間の區域內航行の危險を表示するべき旨九日附官報にて告示さるべし

◉皮革會社新計畫

永登浦の朝鮮皮革會社にては皮革の副產物としてニカワ、ゼラチン、ベルト等の生產をなすべく賀田社長直屬の研究部にて研究を重ねつつありしが最近いづれも着手の計畫成り目下工場建築中なれば近く製品を內鮮市場に提供し得べしと尙ベルトの製造所は內地にも二箇所よりなく同社の開始を以て三箇所となりし譯なりと

◉總督府增築落成

總督府に於ては事務の繁增と共に人員增加し廳舍の狹隘を告げたるを以て本春以來裏手に增築中の處此程竣成したるを以て八日鐵道局は

◉我國民活動の能率を增進せしむる方法（四）

嘉納氏の講演

要するに世界に起る喧嘩の因は何時も人種的感情か然らずんば國家の利害、此二つに歸するのである。從つて是は必ずしも歐洲に限つたことでは無く將來東洋と西洋との間にも是等の問題が起らぬとも云へない。乃で日本の將來に於る立場を考へて見ると利害の問題も固より忽せにしてはならぬが同時に人種間の感情と云ふ問題に就ても

國際間の關係を

餘程巧くやつて行かなければならぬ。固より內地と朝鮮などは決して區別のあるべき筈のものではない、言葉の組立に就て見ても或は人類學者の說を聞いても或は人類學者の議論に徵してもお互ひに源を同じうする民族だと云ふことである、殊に內地人と朝鮮人とは古くから混合して居てそれを今更區別するが如きは以ての外の間違ひである前に述べた通り歐洲では人種が異なつて居るに拘らず一つに結合して居るものがある、墺太利匈牙利など其中には澤山の異民族を包んで居るがそれでも何とか彼とか理窟を付けて一緒になつて居る、さうしなくては心細くて仕方が無いのである。況してや人種も其文化の發達の歷史も同じき所の

內地と朝鮮とは

當然一つのものでなくてはならぬ利害の點から考へて見ても朝鮮は併合以來富の增殖、生命財產の安全、文化の進步其他總ての方面から人民の幸福は著しく增進して居る。即ち日鮮一體の當然なることの何よりの證據である。斯んなことは勿論御承知だらうけれど序に申上げるのである。次に支那は何うか、東洋に於て日本民族と云ふものを極めて狹く見て彼の何億とも知れぬ支那人種と引離して考へると云ふことは是は甚だ不都合である。私は支那と日本とを併合しようとか、そんな無理なことを主張するのでは無い。唯兩國がよく密接な關係を保つて

世界の大舞臺上

にあつて倶々に相扶けて行かなければならぬと云ふのである。支那は朝鮮と比べた場合には日本に對して幾分密接の度は薄い、言葉の成立も違つて居る。併し歐羅巴、米利加其他の諸人種と比較した場合には大體同一人種と云つて差支無い。又實際種々の方面に兩者の共通點を認め得るのである。即ち從來の日本內地なり朝鮮なりの文化は支那から移したものである、近年に及んで日本が支那の文化の發達を導くと云ふ有樣になつて居る、交通も固より昔から頗る頻繁であつたから自然兩國の人民の間にお互に血が混り合つて居るとも

爭はれぬ事實で

ある。然れば東洋に國を成して居る此日本と支那とが堅く聯結して以て世界の平和に貢獻することは正に當然の義務である。是に依つて世界各國の間に起り易い所の人種の爭ひ、利害の爭ひに對しては相當に強い勢力を以て臨み禍を未然に防ぐことに努めなくてはなら

◆重要電報

欄外にあり

新築廳舍に移轉し元鐵道局跡へは商工課移轉せり

人事消息

▲上阪（廣島商業會議所會頭）一行四名哈爾賓より歸途八日夜入京山本へ
▲淺井佐一郎氏（農工銀行平壤支店長）同上
▲尾崎敬義氏（愛媛縣選出代議士）八日夜入京朝鮮ホテルへ
▲慶田敬和氏（仁川海運業）同上
▲伊東訥吉氏（國民新聞記者）同上不知火へ
▲田村定四郎氏（米國サン火災保險大阪支店長）八日來京
▲稻垣長次郎氏（鎭南浦府尹）[illegible]
▲藤野正年氏（[illegible]選出代議士）同上
▲叙爵重五郎氏[illegible]▲[illegible]江氏（三井物產社員）同上
▲向井忠氏（群山府事）同上
▲堤義道氏（鮮銀消費所長）同上
▲舞田壽三郎氏（愛知織物組合長）同上
▲小林撥毅氏（愛知織物商）同上
▲福岡農業學校生觀察團一行六十二名九日朝京城の筈
▲檜垣一氏（伊豫大洲銀行頭取）八日夜入京天[illegible]へ

◇鳥瞰雜爼

東印度諸島中にはまだ現はれて居らぬ奇談が却々潛在してゐるらしい▲之れも其一つで東印度諸島の東端にキッサと云ふ小島がある▲同島は十七世紀の中頃和蘭政府がマラッカの香料獨占を確實ならしめんが爲に衛兵八人を送つて番をさせた▲處が其內歲月の經過と共に吞ん氣な政府もあつたもので何時の間にか本國政府は之れ等番人の事を念頭から忘れて仕舞つた▲つまり八人の衛兵は島へ捨られたと云ふ始末お伽噺にでも有り相な事實談である▲其處で八人は餘儀なく此の島に永住する事となつたが幸ひにも何れもが赴任する時妻君を伴つて來て居たので別に土人と雜婚の必要もなかつた▲爾來二百五十年の星霜を經ても之れと云ふ人種的退化の跡もなく無事に子孫は繁昌してゐる▲而して今では最早五百人に垂んとしてゐるが當時の隊長の子孫が目下六十三歲で世襲的に部落の長を勤めてゐる由な▲之れは植民學上にも人種學上にも研究の好材料で面白い話ではないか▲誰しも自分の職業には飽きて他人の仕事が羨ましくなるのは人情だらう▲此の傾向はむかしも今も變りはない▲或る學者仲間にもあると見えて此の樣な實話がある▲建築界の權威辰野金吾博士は『自分の子供には將來何になつても拘束せんが唯建築丈けは御免だ』と云ひ聞かせてある相な▲高根義人博士は『辯護士以外の職業なら何でも好い』と其の選擇の自由は子供に與へてあるとか▲金杉英五郎博士は『子供には常に醫者丈けはやめて吳れ』と賴んで居ると▲河童の子は河童だと昔から好く云つてあるが學者連中は之と全く反對らしい▲愚案愚息の多いのも或ひは斯う云ふ事が一原因になりはすまいか▲今の人は昔の人に比べると氣魄が無い、▲昔なら武士の子は必ず武士になつたものだ▲と或老人は頗る自慢顏を拵つて居た

商業及法人登記公告

朝鮮煙草株式會社ハ大正七年九月拾參日京城府義州通壹丁目八拾番地ノ支店ヲ廢止シタリ
商號新設。商號米國製皮洋服店、營業ノ種類洋服製造及販賣業、營業所京城府南大門通壹丁目貳拾番地。商號使用者ノ氏名住所京城府昌信洞六百七拾壹番地李重信
右大正七年九月貳拾五日登記
京城鎭南浦府[illegible]
（以下商業登記・法人登記公告多數、[illegible]）
右大正七年拾月七日登記

京城地方法院

富の道しるべ

山縣五十雄村上唯吉共著（價十五錢郵稅二錢）京城本町[illegible]

物品拂下公告

第一號　十八金八形モハード米式時計外二　十八金百四點
第二號　十八金ダイヤ入無變方針
第三號　十八金ダイヤ入指環外四
第四號外　十八金ダイヤ入指環
第五號　十八金ヒスイダイヤ入ピン
第六號　人力車用護謨丸タイヤー十八點
第七號　百四十九ポンド五
第四百號　染料インヂゴプリユー
右物品十月二十二日午後一時京城稅關構內ニ於テ入札賣却ス
但シ現品ハ十月十八日ヨリ同二十一日マデ午前十時ヨリ午後四時迄ニ限リ縱覽ヲ許ス
大正七年十月三日
仁川稅關

味噌の橫綱　ほまれ味噌

投資募集

投資界の福神（貳百萬圓事業計畫）

●僅カノ投資デ百萬圓位ノ財產ハ誰ニモ出來ル
●廿圓ノ資金デ貳千圓ノ財產ガ譯ナク出來ル
▲金ナキハ人生最大不幸ナリ▲

方法　常識ト確實ナル事業ニ投資セバ直ニ判ル、未來ノ成功者タラン人生存競爭ノ勝利者タランスル人、將來ノ大家主大地主タラントスル人此ノ期ヲ逸セズ振ツテ投資セラレヨ、本業ヲ捨テズ副業的ニ僅少ノ投資デ致富成功ノ確實ナル事ヲ保證ス
▲事業トシテ是程安全確實ナルモノ他ニナシ▲經營トシテ簡單ニテ是程手數ノ懸ラヌモノハナイ▲利益トシテ殆ンド一定不變デ損ノ憂絶對ナシ
▲建物ハ五十年ヲ保證シ修繕ヲ加フル故ニ永久不朽デ是程堅イモノハナイ

投資要項　一口ノ金額　投資金總額金貳百萬圓　◎募集口數五千口　金四百圓トシ最低ヲ小口二十圓以上何程ニテモ分納スル事ヲ
募入方法　第一期口數超過ノ場合ハ第二期ニ編入ス
◉定款目論見書及ビ申込用紙ハ申込次第送呈ス此ノ期ヲ逸セバ好機再ビ來ラズ此ノ新事業ニ振ツテ贊同投資セラレン事ヲ切望ス

東京市役草區地方今戶町四二　電話下谷五八五八
帝都建築蓄產會

江戸の花　御納め式

創業明治廿貳年

新たな開業の御方又自轉車御營業の方ハ（御一報を乞ふ）

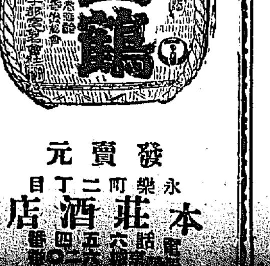
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車卸商部
杉野商店
東京神田末廣町
電話下谷八五一一番
振替東京四八七七番
郵便私書函神田局拾四番
C.A. DAIMILLION TOKYO

最新刊

書名　著者　定價　送料
△平假名かるた　各三十五錢　送料各六錢
內外織物組織製造學　三、五〇　一八
近世殖民史　一、八〇　一二
朝鮮の冬防寒法　二五
地方行政區域名稱一覽　六〇　二
朝鮮行政警察法規集　五五
袖珍朝鮮司法警察法規集　五〇
△こらんぷ　一冊十五錢
譚往大戰　二、五〇
永遠の戰　閱法　九五
夕の鐘　九〇
十二の　八五
世界風俗奇談　八五
△ぴんぽん道具
京城本町
大阪屋號

優等清酒



發賣元
永樂町二丁目
本莊酒店

◉京城地方監督社員招聘

月俸五拾圓以上及旅費支給希望者は京城本町巴城館內小田主事へ履歷書携帶至急面談アレ

福德生命保險株式會社
社長　川崎芳太郎
主事　小田太喜三郎

人格ある三十才以上の鮮人通譯一名採用希望者履歷書携帶本人來談

◇…野砲兵…日下…に於て…擊…計畫しつつあり（…電）

◇米佛軍・敵防禦線突破

米佛軍はスイッペ河の後方にある獨軍の全防禦線を突破せり（倫敦電報）

◇穀類收用令廢止 ＝並に暴利取締令＝

今回農商務省にては穀類收用令廢止…暴利取締令を…上すること決し

紐育ブレスレビト會社の工場に大火災起り百名以上の職工慘死を遂げ全損害千五百萬乃至二千萬弗に達する見込なり（桑港電報）

…補助金を與ふる事となりたる爲め…早々工事に着手する運び

◎哈府の博物館

隨分よく集めた＝日本の甲冑＝朝鮮の高麗燒もある

◇西伯利の持つ誇の一つ

……金谷眞……

ハバロフスクの博物館は極東の研究者に極めて有益な智識を與へる殊に露領西伯利に於ける未開人種の生活を知るには最も便利なところである、創立者はグラジエーエフ將軍といふ今から約三十年前の總督で御來各地を旅行する露國の軍人等がハバロフスクへの

▽お土産に蒐集 したのが今の貴重なる陳列品である、建物は餘り廣くもないがハバロフスク公園の小高き處にある煉瓦建三階で參觀料は一人一留、多くは何時行つても見せるやうである、先づ入口を見るこ烏蘇里沿線の支那人の諸道具が陳べてある、あの山林中に生活する原始時代そのまゝの支那人の器具には無細工な木造の鉢や水甕形のものもある、それに龍形の酌片入れや木の皮の酌片煉り器具が興味深く思はれた、其他支那の神像もあれば滿洲邊そつくりの馬車もある、就中露語で『ウイガンカ、スピリタ』こいふは

▽煉瓦形の材木 は水を吸はせて置いて必要な時絞出すものであつた、中央の支那の部にはあらゆる支那の器具を蒐め就中大砲砲術劍等には古代からのものを年代順に陳べたのも見られた、また蒙古の部にはなか〳〵立派な陳列品があつて喇嘛及び西藏の佛像、陰陽同體の像など澤山にあつた、其の他奉天邊でよくやる踊や喇嘛の舞踏や喇嘛の樂器も揃へてあつてさすがに蒙古こは御近所の露西亞だけあるこ思はれた、日本の部には等身大のサムライから清水燒、草鞋下駄、浮世繪、甲冑、神具なども見られる、次に

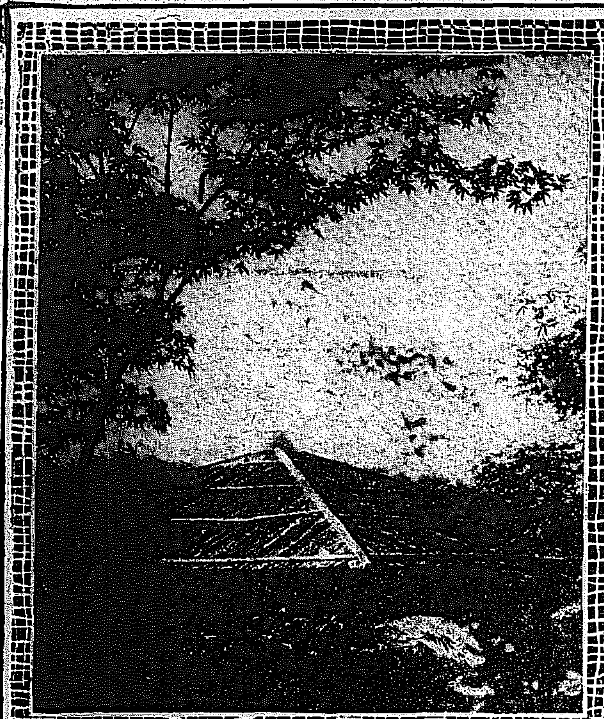
▽朝鮮の部では 扇子、文獻、笠、佛像サバル、高麗燒、琴等なか〳〵忠實に蒐めてある、殊に慶州邊で發掘したらしい素燒の甕もあれば開城邊の青磁もあつた、次に鑛物の部には浦鹽附近の石炭、蘇昌邊州の石炭、スレチエンスキー州の石チユチヘ鑛山（浦鹽から海岸を北へオクガ灣附近）の錫、銀、銅その他黑龍州の石材等があつた、お隣はまた巨獸の骨を陳列し巨大な西伯利のマンモスの牙や水牛の角などがあつた、——此の他盜に書き落した品はどれだけあるか解らぬ——次にまたハバロフスクの大鐵橋を架ける時發掘した錆た鐙の金屬！それは日本の

▽神武天皇時代 に武人の著けた樣なものもあつた、更に石鏃もあれば石斧もあり、無細工な石臼こ石の槌もあつた、瓦の破片には專門家の研究に値する紋樣もなか〳〵多く自分はたゞ自分の頭の空ッぽなるを遺憾こした、二階の階段には鳥蘇里及び黑龍江州方面の木材標本がある、樫や白樺などの輪切りにしたのが澤山並べられてある二階で先づ面白いのはオホツク海に於る膃肭臍やアザラシの中を蒸譜のバイダールカこ稱する革張りの船でエスキモーが銛を突く姿である背景に凍結した

▽海岸を油繪に したなごは露助君こしては氣の利いたやり方である、そばには巨きな鯨の骨もあつた、寫眞にはまたコンマンドルスキー附近の漁場やアレウート人の生活なごが數多くある、次にハバロフスク附近の蛇の陳列を見るこその多くは靈蛇であつた、獸骨にはカムチヤツカ附近の巨大なヂキ（露語）こ稱するもの、モリシユこ稱するものがある、魚類にはカムチヤツカの部が一番面白くチヤプイチヤ、テレスカ、ニギーヂヤ、キタ、マリコ等がある、黑龍江の流れで漁れる魚類には白いキリムこ稱するものを始め鮭、鯰、鱒、鱘等百種ばかりあつた、此の他海や陸の鳥類もある、標本には

▽西伯利の大鷲 が膃肭臍を掴んでゐるのがあつた、獸類にはオホツクの海獸から黑龍江州の虎、熊などがある、二階の一番お了ひには此の博物館獨特の誇りこも云ふべき北方未開人種の標本から日常生活の器具がある、自分はハバロフスク滯在中の大多忙中を二回までも此處に來て感歎措く能はざりしものである、烏居龍藏教授は一度見て居られるやうに聞いたが專門家には是非見せたいものである、露人は此處をアントグラフイチエスキー、オデルこ言ふた、蒐めた人種はギリヤーク、ゴールヅイ、アラチヨーン、ツングース、ヤクート、チユークチ、アレウート、ラムツイ等で壁には各々此の人種の著物や器具が陳列してある、殊にカムチヤツカ附近の土民になるこその

▽著物の毛皮が 實に堂々たるもので參觀人を驚かせる、これ丈は一寸漁をする土民の船の標本にはオホツク海のアレウート人が骨を木で造つてそれにヂエールデこ稱する革を張つたものこアラチヨーンの獨木舟こ、ギリヤークの木の皮の船が面白かつた、次にツングースがアレーンこ稱する馴鹿に毛皮の鞍をつけたところも興多く且つシヤーマン敎の祈禱するところには木造の幼稚な人形などがあつた、シヤーマンは朝鮮の巫女こも關係があり日本の原始神道こも關係があるこいふ、草で作つたボーホには人形や熊の形もあつた、兎に角此處の博物館は東洋に於る誇りであらう、陳列品のとについては後に更にあらためて記すであらう。



◇楓色づく　松を後に楓の梢紅葉濃し＝虚子＝（百花園にて撮影）

◎攻防演習 戰鬪中止

大宴會開催

一日以來の陣地攻防演習は六日黎明北軍最後の大突擊大激戰となり剎那午前六時四十分戰鬪中止となり午後四時より閑院宮殿下以下演習將校大宴會を開き同六時散會せり（東京特電）

◎砲彈工場大爆發

米國ニユウ、ゼルシー州 椿事 死傷者多數＝損害數百萬弗

米國ニユウ、ゼルシー州サウスアンボイのギレスパイ砲彈裝塡工場價格千八百萬弗の大建築物に數回に亘る大爆發起り多數行方不明こなれり因に損害數百萬弗に達せり（紐育電報）

◎露廢后行方不明

行先きは烏拉爾地方か

露廢后皇太女等は皇帝死刑執行後エカテリンブルグより安全の地に護送の筈なりしが途中行方不明こなれるが多分烏拉爾地方に隱れ居るならんこ（アムステルダム電報）

◎東郷元帥の病因は

演習地で食べた辨當の中毒

東宮殿下豐橋行啓中去る四日隨行の人々賓金の辨當を食したるに東郷元帥以下王生東宮武官安河内知事其他數名中毒し腹痛、下痢を起し應急加療の結果幸ひに其後快癒せるも一時は大騷ぎこなれり殿下の供御は大東館にて特に調理して差上げたるより何事もあらせられざりしが東郷元帥は目下加療中なり（東京特電）

◎お流になる新聞局

新内閣の反對 事務が二重になる爲

内務省が設置せんこしたる新聞局に於ては内務省關係事項の檢閲は勿論陸海軍及び外務省等の時局關係の檢閲並に戰報其他一切を取扱めて發表する豫定なりしも

▼陸軍側 に於て新聞局に數名の軍事當局者を派遣し置くにも發表もの、程度內容につきては局長、次官、大臣の決裁を經るの要あるを以て却つて不便を感ずべしこ主張したる結果陸、海軍、外務三省に於て從來通り發表するの外新聞局に於ても同樣の發表をなす事に決し內務省最初の計畫こ

▽齟齬を 來したるが現内閣に於ても斯かる事務を二重にする制度には反對の聲あり結局新聞局の設置は中止さるべしこ（東京特電）

□戰地より

金谷從軍記者

★手眞似の博言博士

戰地に來た兵士はみな日露會話の本を貰つてゐる、これで『宜しい』『ありがたう』等が自由に使へる人は澤山出來たが中にはなか〳〵面白い珍談もある記者仲間では『馬車』を『給草紙』、『兵隊』を『蚊立ち』『左樣なら』を『五升樽』で記憶してゐる露西亞通も出來た、ある日巨きな露助君が來て『サケ〳〵』と呼びつゝ魚が水に游ぐやうな手つきをした、そしてゲブ〳〵と醉つぱらひの眞似をした上酒はないかさいふのである、こちらも相當手眞似のエスペラントで通して來たが、こんな活劇はざらにある

★落伍した病兵

山田枝隊に追從して突進するわれ〳〵の列車は常に前線の兵士を見た廿一日夕方も汽車がブレーヤ驛に著くさ其處には二人の病兵が呼吸も絶々に苦しくなつてゐる、早速鐵道隊の軍醫殿に賴んで診て貰ふこ二人は非常に喜んだ、聞けば二人共北方聯隊の兵士でハバロフスクから敵を急追擊して來る途中遺憾にも此處で落伍したものであつた、何分徒歩行軍で前進して十七日夜の大暴風雨中にも雨に濡れたまゝ野宿になつた患者であつた、『宜いか、そろ〳〵世話してやるさ』二人は急に元氣づいた『何分露人の家も私等が厭ひます二人で一夜に六十回も便所に行きますから……』さいふ其中赤十字の印ある列車が來て二人は遂に收容された、その時の兩人の顔色を見て『敵を追ふのは逃げる者よりも一層辛いことだ』とつく〴〵思つた

◎米國の禁足令

在米の日本人も當分歸れぬ

最近米國より橫濱に歸港せし大阪商船會社の市俄古丸事務長の談に依れば『去月十五日附を以て突然米國は新徵兵令を發布し十八歲以上卅五歲以下の男子を登錄して

◇海外へ 立ち去る事を禁止したるが爲め市俄古丸にて歸朝の豫定なりし日本人三〇米國人九十名は之が爲め乘船する事出來ざるに至り大番狂はせを生じ漸くヴイクトリアに於いて船客三十名を

◇收容す る事を得たる由にして險外網の設けられざる間は在米の我同胞は當分歸朝する事を得ざるべく、又米國にて戰費支辨の爲め各種の戰時稅を賦課する事こなりたる上、各商店にては店頭に慰問函を設けて商品を買ひたる客に必ず五仙乃至十仙の金を同函に投函せしむる樣になしあり、之れが爲め中には十仙の

◇煙草に 費やしたるもの が五十仙の銀貨を投入するもありて其の金は取纏め出征軍人の慰問費に使用され居れりこ（東京）

◎珍客輸送

列車には變更がない!!!

前後百十數回にわたる西伯利行珍客大輸送は九月下旬を以て一段落を告げたるが八月より數日間引續きて再び開始せらる但し今回は前回の如く大計畫の輸送にあらずして一晝夜二列車宛の輸送にこどめ一般列車の運行には變動なしこ

◎恤兵金獻納

慶北迎日郡參事金瑀鎭氏は去る九月三十日陸軍省に對し恤兵金こして金一千圓の寄附を申出たり

◎馬賊

九月十二日夜各自銃器及び其他の凶器を携へたる馬賊約廿四名（頭目平柱）は平北慈城郡長城の對岸より約二十丁を離れたる輯安縣胡蘆套に現はれ同地居住の支那人五源淼及び林中橋方に闖入し同人を拉去し次いで馬景新、高殿恒等の家を襲ひ家人を脅迫したる上金品を強奪し奧地に引揚げたり報に接したる三道溝保甲隊にては民兵二十名を派し馬賊の討伐を爲さしめ居れるが附近羅草溝石灰溝及び葦沙河地方の支那人男女約五十名は鮮地側長城里に避難し來れり我憲兵は之等の避難民を保護すると共に一面江岸を警戒中なりこ

◎一部試驗合格者

十月二日より京城醫學專門學校に於て施行中の第九回朝鮮醫術開業第一部試驗は四日終了同五日成績を發表せるが受驗總員二十名中左記受驗番號の八名合格せり而して第二部試驗は受驗者十四名にして七日より施行中なるが十日午後成績を發表すべし

第一號、第三號、第八號、第十三號、第十四號、第十八號、第十九號、第二十號

◎女子事務員

遞信局で採用する

遞信局に於ては今回新に女子事務員を採用し爲替貯金等の受拂調査其他計算事務に從事せしむる由應募者は年齡十六歲以上にして高等小學卒業又は之と同等以上の學力あり身體健康なる未婚の婦人にして京城又は龍山に父兄若くは其の他確實なる保護者を有する者給與は日給上級者は高等小學卒業生にして月收十三四圓見込志願者は光化門通り遞信局人事係へ至急差出さるべしこ

◎鯖の大漁

巨濟島長承浦は鯖巾着網漁業の根據地なるが秋鯖の[illegible]に限り本年は[illegible]方面へ出漁[illegible]昨今は珍らしく長承浦[illegible]大漁[illegible]其の他[illegible]以上の大群を一度に捕獲せるものも有り同地にては[illegible]之れが處理に困却し居れり[illegible]地邊の石油[illegible]なく魚價は大暴落[illegible]一尾五六厘といふ安價[illegible]五六千尾宛に[illegible]以來の大漁なりと

◎咸北の初雪

咸鏡北道豐山郡地方は九月三十日より急に寒氣襲來し翌午前二時頃より降雪あり積むこと約一寸に及び蔬菜類の被害多大なり

◎野澤吉清の淨瑠璃

野澤吉清の淨瑠璃會は九日午後六時より[illegible]に於て催さるゝなるが當夜は[illegible]の飛び入りあり新加入の天狗由良之助の飛び入りあり語り物變更せるもの次の如し

[illegible]

◎保育園に白米寄附

孤兒保育事業の京城支部[illegible]に白米寄附[illegible]ありたりと

◎南山本願寺の三日經

同寺に於ては一日より十三日迄午後七時半より三十三經の勤修し一般參詣者の爲めに特別傳道をなす由

◎讀者文藝（一等には五十錢の切手を呈す）

▲俗謠『砧』

◎召に應じた伜の留守を孫が手傳ふ藥砧（一等）　京城花園町一二二　窪田いつ子

▲待つ夜砧の拍子に更けて來れば涙の…
　仁川花…
▲妻が涙で砧で知らで夜通し叩く…
　利川　浜光…
▲妻の根氣が續いて…
　京城　存　…

◎月やく　月やくさまり月經不順の爲食物胸につかへ時々嘔吐を催し腰足痛み下腹部張り逆上頭痛等に悩み…何さなく身體の工合惡く色々他の藥を用ひても効なく…

藥の撰擇肝要　流經する秘藥を人助けの爲お分ちします私方へ返信料添へ申込あれば…東京市四谷信濃町電車停留場前大阪北區曾根崎上壹丁目四番地月經專門藥經球發行所

◎るいれき　病グリグリ出來て困難の處扱に特效の良藥によりキラズ全治せり助けの爲め二錢切手封入申越の方にスグ詳報す　播州明石相生町黄山家本舖

◎京日案內　一回前金新外一回前金（一回四錢）普通七拾錢…▲申込中後途掲載中止の節は料金不返戾▲六回以上の御申込は特に割引す…▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

◎貸家　黃金町三ノ三〇二日本建間數五間都空地有電話九八九大島

◎貸家賃拾六圓

◎新藥　チステンパー注射開始　京城大黃獸注射所京城大猫病院

明治町貳丁目卅二

◎電話讓り受たし　電話二七九四番　平井へ

◎有給外務員招聘　有爲の人士を望む希望者は本人履歷書持參の上社にあれ　京城長谷川町帝國公債會社支部

◎內地人女子募集　十八歲迄三十…履歷書携帶庶務掛にて承合すべし　龍山總督府印刷所

子供入用　年令十五六才ノ者二名小學卒業程度本人來談あれ保證人を要す　明治町二丁目唐川吳服店

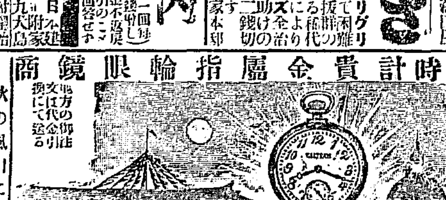
店員入用　年令十六七才四十四五才迄市內に身元保證人を要す　仁川新町野田紙店

綿羊飼育　坪百圓の收益ある　▲只で種羊は貸下られ…羊毛は無限に賣れる…目下政府が多額の補助金を下附して盛んに奬勵してゐる緬羊の飼育は地方部村の福音である。緬羊飼育は廢物利用で然も多大の收入ある事が一坪からでも百圓近くの收益を上げてゐる殊に人に先んじて飼育し繁殖させれば思はぬ大金が儲かる其上羊毛は陸軍省で無限に買入れて呉れるから心配は無い。其飼育法、收毛法、肉法、販賣法等は東京牛込區戶山北井町卅五大日本畜産協會發行の最新緬羊講義錄を見る一番よい同會會員には永久取引其他の特典がある會則及講義錄見本はハガキで申込次第郵送

連日滿員御禮　滿都の紳士淑女を熱狂せる　金色夜叉　前編　來る十日迄絕對日延べなし何卒御見落しなく御高覽を乞ふ　次回引續後編上場　大正館

セメント石灰　硅藻土火山灰　左官材料一式　各種色土砂　布海苔　各種塗料　左官用、東京鏝品　煉瓦用、東京鏝　建築材料種々　各種耐火煉瓦　煉瓦土管瓦　各種防類製造　九州火山灰合資會社特約販賣　京城電氣株式會社瓦斯コークス　コールタール　平壤小野田セメント株式會社製石灰特約販賣　京城旭町一丁目電話九八四番　卸商戶澤商店　左官建築材料

時計貴金屬指輪眼鏡商　秋の風引には　地方の御注文は代金引換にて送る　京城本町二丁目京城銀行前　三浦天龍堂　電話一〇二〇番振替京城三〇四番



調劑確實有效保證　KAZEPIRIN　大學病院携帶方劑　京風解熱全劑　本舖　浅野榮天堂藥局　鮮滿無比の特約店にて販賣す

男の病ひ專門　生殖器發育不完全、包莖、冷萎、早漏、機能障害は專賣特許眞空療法で目に見えて復活す…非賣品圖入說明書無代封送す…東京神田カヂ町五　電話神七三一　東京眞空療法研究會

眼科專門　入院隨意　京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

風流 鳥料理 京城本町二（有樂館東橫）電話一三八三番

カーバイド　並に各種ランプ及附屬品　鮮滿總代理店田中カーバイド　京城南米倉町十七番地　山陽商會　電話二九〇番振替京城三…

◎可驚 ◎百圓 ◎金儲　三の投資に年が千圓になる　安全確實な利殖…

東京日本橋元大坂町　高木與兵衛　懷中要藥　清心丹　氣分を爽にし船車の不快、過酒食、嘔吐下痢、時候アタリの豫防食後常用せば消化を進め胃腸を健全に保ち惡疫に侵されにくし

◎來銃獵の好季◎　銃獵の趣味　吉村謙著　△本書を繙けば即座に百發百中の名射手となる好書▽　內容　銃器撰擇、彈藥裝塡方射擊法、獵犬の撰擇及訓練法、獵場所等頗る內容に富み…狩獵の諸規則朝鮮獵道沿線…ポケツト形　定價三十五錢　送料貳錢

教訓 れ伽噺　八島柳堂著　◇箱入美本◇　內容豐富　定價三十錢　送料二錢　殘部僅少

◎本書を讀んだ少年少女は智惠を增して利巧になる好讀物

朝鮮書畫家列傳　朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎閣下題辭　貴族院議員德富猪一郎序文　元京城學校組合會議員吉田英三郎著　本書は朝鮮書畫家約五百人の小傳を集め之を字畫の順序に排列し人をして捜索の便を享けしむ而して更に添ゆるに朝鮮號索引を以てし日本支那朝鮮及び西曆を併記し自他の年代を知るに於て一目瞭然たらしむ朝鮮書畫蒐集者及び鑑賞者に取りては洵に有益の參考書なり　百部限り　特價五十錢　送料四錢

朝鮮古錢價格圖鑑　朝鮮の古錢一枚が二十圓、三十圓に飛んで賣れる古錢の所有者は至急本書を左右に備へられん事を奬む　金貳拾錢　送料貳錢

京城府　朝鮮京城日報社代理部　電話六〇九番　振替京城三〇〇番　□大取所　□大阪屋號　□嚴松堂　日韓書房　ウツボヤ書店

妻の心 百十五

十八の六　小林蹴月作　武内桂舟畫

『莫迦を云つちや不可よお俊、當推量や判斷のみでない證據は、此の書面が物を云つてるぢやないか。』前も昨日の早朝現在彼の櫻井の奴が、自身で持つて來て、乃公から立派に受取證まで取つて行きをつたぢやないか。』

『それは然うで御座いませうが旦那樣、貴郎樣はそのお書付が全く奥樣のお心から出たものと思召すので御座いますか。』

『禮子の心から出ないで、誰の心から出る？禮子は平生から乃公の事を冷淡だとか殘酷だとか云つて、怨んでつたらしいが、乃公の心を冷淡にならせたり殘酷にならせたりしたのは、一體誰の罪だ？要するに櫻井と云ふ裏面の情夫があればこそ、乃公に對して、然うなるやう然うなるやうと仕向けこつたに違ひないんだ。左もなくて、女の分際として、這んな無禮な書面が良夫の手へ寄越される筈があるか。手跡なごは勿論お袋が代筆しようと櫻井がのたくらうと、禮子の署名と捺印とは此の通り本人の意志たる事を表白してるんだ。お前に斯う云つたら、お前は腹を立つだらうが、乃公の目からはお前も矢張禮子や櫻井の間諜とほか思へんのだ。なに、そりや情ないお話だと云ふのか？情ない話と思ふなら、さッさと歸つて、乃公の云つてる通りを報告に及ぶが宜しい。』

久三郎は云ひ切つた儘、コップを引寄せながら、庭の方を睨いて、憎もほろゝである。

『それでは旦那樣、貴郎は妾の申す事は一切嘘だと被仰るんで御座いますか。』と、お俊は、眞に情なさゝうな絶望の太息を吐いたが、

『……併しながら旦那樣、七年來お連れ添ひになつた奥樣のお心持が……彼の貞節な旦那樣思ひのお心持ちが、貴郎のお胸にお分かりにならぬと云ふのは、妾こそ反つて不思議に思はれてならないんで御座います。』

『だから云ふぢやないか。七人の子を爲すとも婦人に肌は許されんとは、其處の事なんだ。些細の事にも涙さへ流して、めそ〳〵と泣いたり口説いたりするのが貞節とか賢夫人とか云ふ事が出來れば、ヒステリーの女は、殘らず貞節で賢夫人でなければならんよ。決して世の中は、そんなもんぢやない。からのお俊、お前には何處までも氣の毒と思ふが、表面に貞淑を裝つて裏面に不義を重ねるやうな淡の如き女に、未練を殘したうても殘す譯にはゆかんよ。あッは、は、は。』

久三郎は、恬としてお俊の語を受け入れさうにもないのである。

『まあ、什う致せば、旦那樣はそんな無慈悲なお心を……』と、云ひかけたぎり、根が温順い一方のお俊は、益只情なさが募つて、怨み泣きに泣き入るのみである。

『とは云ふもの、お俊、お前が禮子の爲めを思つて、一昨夜來夜の目も合さずに、乃公の後を附慕つて居た骨折に對して、乃公はほんの持合せぢやあるが、お前の俥賃に進上するから、不足でもあらうが持つてお歸り。』

久三郎も、萬更の木石ではないのである。お俊に丈は、幾分可哀さうなと思ふ心があるので、若干かの紙幣を財布から取出し、白紙に包んでお俊に與へる。

『いゝえ、旦那樣、妾、貧乏は致しこりましても、そんなお禮なご頂く了簡は、毛頭御座いませんので御座います。只々奥樣の息のお有り遊ばす間に、只ッた一度限りで宜しいので御座いますから……。』

『何と云ふんだね、お俊。お前、何か知らんが妙な事を云つたやうだね。奥樣の息のある間と云ふと……』

『……それぢや何かね、禮子は一命にも關る程の大病にでも惱んでると云ふ譯かね？』

『……はい、旦那樣、實を申上げますと、奥樣はもう人間界のお方ではお在遊ばさないんで御座いま……』と、お俊は、皆まで云ひ盡し得ないで、ワッと聲を上げつゝ、泣き崩折れたのである。

『なに、禮子が人間界の人間でないとは？』

久三郎の眼付も、我知らず變調を呈した。

◎神經衰弱の話（二）

＝治療＝

併し乍ら茲に注意を要すべきは或る精神病の初期に一度神經衰弱に罹つたと同一の症狀を示す事がある、そして或ひは醫師の不注意で可なりに進むだ狀態になるまで神經衰弱と誤診して顧みない事が屢あるから、殊に麻痺性癡呆と云ひ梅毒から惹起す精神病等は初期は大抵神經衰弱の症狀を表し不眠症、頭痛、頭内朦朧感

▼等を訴へるが注意して診ると之には相當の他の症狀が加はるのであるから細心に注意して早期に鑑別をしないと後になつて取り返しのつかぬ事になる、然して麻痺狂は精神病中最も惡性なもので必らず二三年の間には生命を奪はれる恐れあるものであることを知らなければならぬ

▼神經衰弱の治療法は略ぼ分いろ〳〵な人によつていろ〳〵な風に行はれ勞へられて居る殊に患者自身が種々な自家療法を考へては迷つて居る爲めに一種の好手段に出づる賣藥的治療をなす者もあるから殊に注意しなければならぬ、必要な方法は

▼生活狀態を替る事で轉地、入院等の効果のあるは是れが爲めである、此生活狀態を化學的に替る方法として種々の注射液が考案されてある、つまり新陳代謝を促して組織の營養狀態に變化を與へる爲めに行ふもので夫には二種ある

口湖南吟社例會　大田―七、十、五―於風骨庵

秋去衣

山窓に秋去衣の裾かろし　桃雨
生み痩せて秋去衣身に重し　十亭
古刹の活く夜秋去衣哉　同
島の女の秋去衣に慰知りぬ　雅湖
經堂や秋去衣の老法師　春三
嫗ふる妻の秋去衣細整し　淡水
星の瞳うけて秋去衣かな　風骨
秋去衣の七草ちらし裾濃うに　同

星月夜

星月夜佐渡は金掘る闘諍り　桃雨
狐鳴く陽が酒や星月夜　同
裸體者に電燈暗らし星月夜　同
星月夜灯さぬ沖・海賊船　春三
猫網細に人居る氣配や月夜　同
星月夜鳴戸の海の汐うなり　同
使僧去りてものめく寺や星月夜　十亭
老杉に鐘打ち込むや星月夜　同
星月 ひそかに寺寶盜み去る　同
舟上りの泥濘透かす星月夜　淡水
星月夜瀟湘の夜を辿り急　雅湖
泊り急げど馬子の小唄や星月夜　同
に廻りの破れ提灯や星月夜　風骨
鐵鉢に溜ふ雨水や星月夜　同
星月夜神代燈ぶる島の祠　同
筏夫の酒霧に醉へり星月夜　同

露

山羊となる網かし闇下る　桃雨
雨に崩る石垣土手や落露　[illegible]
八州の旅に落る露かな　十亭
蝶鏡水上に月落ちんとす　同
本陣の雨に長居や落露　雅湖
露消の水汲む月夜哉　春三
驛路に宿直の夜なびて出お　同
お祭されて市價騰落や露嶺　淡水
落語家法口悲きしたまり露　風骨
[illegible]の甞はじく音や露嶺　同

牛肉は深堀本店へ　京城旭町一丁目　電話一五一九番

讀者の領分

▲講師の傍聽者で中途退席する者は講師に對しては甚だ失禮であり一般聽講者にも不快の念を與へるものである成る可く中途退席しない樣に心掛けて貰ひ度いものだが若し已むを得ざる用件があつて退席しなければならぬ時は他人の迷惑にならぬ樣に然も講演者に敬意を表して出口で敬禮して出たらどんなものだらうか（一聽者）▲京城水道の斷水は慢性になつたと見えて秋晴れた今日此頃になつても一向改善しませんが何日になつたら市民は滿足する事が出來るでせう仁川水道引水工事も出來たとか聞いて居りますが什うした事でしやうか御近狀御知せ下さいと申したい位です一日も早く毎夜の斷水を望みます（新京城）▲平壤の兄氏に答ふ事實[illegible]

◎西部線戰況

西部戰線に於ける戰況は去月廿八日[illegible]

▲之れが全部の占領に[illegible]は何時くとも二三日を要す可か敢[illegible]

を得ずサンカンタンに次いで目下英軍が其主力を傾注して逼迫的攻るもの、如くこれが當面の攻擊に[illegible]

▲飽迄も死守せんとすバランセンの占領以來軍器の材料を此地より得て戰鬪に利用し居た[illegible]

▲聯合軍統帥となりて以來の功績偉大なるは今更言ふ迄[illegible]

内に於ける社會黨の擡頭等により大勢上挫折崩壞の端を示し遂に戰[illegible]

仁川期米

△八日後場 各地電報未着中限二十七圓五十錢[illegible]

五錢五十錢一錢平均値段五十錢二[illegible] 節五十錢四十五錢八錢平均値段四[illegible] 十錢二十錢十錢二十七圓[illegible]

後場 寄付 止め 高値 安値 [illegible]

◆十月十日より十二日まで三日間
冬物大賣出
◆新柄豐富よせぎれ見切反物澤山取揃申候
京城本町
丸一吳服店
電話六三五番

強くて温い日本一の
オニタビ
製造元 發賣元 ㊥ 東京市日本橋區大傳馬町 寺田淳平商店
電話浪花 四四〇〇番 長四五〇〇番 振替東京 七九〇〇番
特約販賣御希望の方は御照會を乞ふ

化粧百態

「白がすがた」　俊畫

お化粧が出來上つた。まあ自分ながらに美しいと、向ふた手鏡に寫して見たおのがすがた、花と見るも道理、白粉には上品で名のあるレート白粉！

お化粧の上品なレート白粉

◎他の品と較べて見て＝レート白粉の附けて直ぐ分る特長

第一。附けた白さが上品で自然の色艶がある。
第二。附り伸びよく決してお化粧崩れがせぬ。
第三。地肌から美しくする上色がクスまぬ。

▽お化粧の秘訣

お化粧の秘訣は、第一に肌を整へる事です。第二に、上品にお化粧が出來る事です。第三に、落附きがよくて、色の變らぬ事です。これにはレート白粉が總てを備へて居ります。

レート化粧料本舗　東京　平尾贊平